京城日報
朝刊

社説　米英根性の典型

八日大本營から蘭印方面作戰の大戰果が發表された。これに依ると、三月廿五日迄のジャバ島内の戰果のみにても、俘虜實に八萬二千六百十八名。これは世紀の戰果と言はれたシンガポールの俘虜七萬三千を約一萬突破するものである。その他鹵獲品においても、火砲が約三倍の九百四十門、機關銃また、シンガポールの五萬二千を遙に超えて八萬四千挺といふ有様である。

この事實は、蘭印が戰前、米英に躍らされて、如何に尨大なる對日軍備を施してゐたかを物語るとともに、米英依存の脆弱性を完全に暴露し、同時に、戰前における米英の煽動工作が、如何に徹頭徹尾、不誠實なものであるかを示し……とは、かつての……ランス等の見殺し……かなやうに、彼等は常に、自己防衛に出發して、他の犠牲を省みない。實に、個人主義を基調とした舊秩序の最高頂を、全人類の前に曝け出したものである。

しかも現在、同じことを濠洲と、印度で行つてゐる。それも來光とも崇めて歡迎してゐること……から見て、寸分の勝……ない。敗北を前提として……、印度の犠牲を強要してゐるのである。

我々がここで、特に言ひたいことは、大東亞戰爭開始以來の現地の實情である。泰は率先して皇軍に協力してゐるし、マレー、ビルマ、フイリツピン、ボルネオ、ジャバ、スマトラ等、すべて、皇軍の進駐を、救世神の如く來光とも崇めて歡迎してゐることである。これは、彼等が如何に舊秩序の暴壓に惱れ嘆いてゐたかの證左である。

この暴壓の最も甚だしい印度濠洲が皇軍の進駐を如何に切望してゐるかは想像に難くない。世界の寶庫といはれる印度は、年々、數十萬の餓死者を出し、三億五千萬の人口の三分の二は月收三圓前後の酷遇に呻吟してゐるのである。濠洲はといへば、殺戮に次ぐ殺戮のため、原住民は僅かに五萬足らず、その他六百萬餘の白系濠人と雖も、所詮は米英資本主義の道具であり、しかも今日では、米英に血肉を捧げる防壁に過ぎない。米英は今、この印、濠の人身御供を強要してゐるのである。米英人もとより、全世界の人間が、如何なる目を以つて見ても、絶對に勝目のない戰ひの防壁として無理矢理に狩り出さうとしてゐるのである。米道、不義、全く米英根性の典型といふべきである。

血は水よりも濃し、況んや白人優越感に凝り固まつて、他人種を犬猫視してゐるアングロサクソンに、心から靡いてゐる亞細亞人は一人と雖も無い筈である。皇軍の赫々たる大戰果と、占領地の民情が、これを何よりも雄辯に證明してゐる。我々は米英に、亞細亞に於ける凡ゆる工作の無駄を、心から忠告するとともに、印度、濠洲が、米英の謀略から脱れて、新しき東亞の倫理に憑拠することを斷念して已まない。

英甲巡洋艦二隻撃沈
敵機六十機を撃墜す
七日迄の印度洋作戰大戰果

大本營發表（九日午後五時）さきに發表せし帝國海軍部隊の印度洋作戰における四月七日までの戰果左のごとし

一、艦艇撃沈、英甲巡ロンドン型一隻、同コンウオール型一隻
二、船舶撃沈、二十一隻、約十四萬トン、大破二十三隻、約十二萬トン
三、飛行機撃墜、六十機
四、陸上施設、飛行機格納庫三棟、修理工場一棟、その他重要施設數ケ所破壞

右作戰においてわが方飛行機五機を失へるほか艦艇に損傷なし

憐れ英の反撃空し
"見敵必殺"のわが海軍に粉砕

【東京電話】去る六日大本營より發表なる帝國海軍部隊が印度洋上の英國最大の防衛基地コロンボその他を強襲し、所在の敵兵力に甚大なる損害を與へつゝある旨の發表あり、その後の情報が待たれてゐたが、九日の發表により七日までに判明せる綜合戰果は艦艇撃沈英甲巡二隻をはじめ、船舶撃沈破四十四隻約二十六萬トン、敵機六十機撃墜、陸上諸施設破壞といふまさに驚異的大戰果であつたことが明かにされた。これに對するわが方の損害は僅か艦艇にして損傷を蒙つたものはたゞの一隻もない。見敵必殺に居る、わが無敵海軍の恐るべき實價にはたゞく驚嘆のほかはない。以上の戰果のうち判明せる敵損害内譯は大破せる敵船舶中大型（五千トン以上のもの）十三隻、同小型十隻、また撃墜飛行機はスピットフアイヤー十九機、ハリケーン二十七機、スオードフイツシュ雷撃機十機、デフアイアント雷撃機一機である。右英飛行機中初見參としてとくに注目さるゝのは英が世界に誇り虎の子と恃む新銳雷撃機スオードフイツシユおよびアルバコア型の出現であつて、ことに前者は一昨年十一月伊國軍港タラントを奇襲し、戰艦をもつてイタリーの主力艦リツトリオ以下三隻に相當の損害を與へ、さらに昨年五月には獨戰艦ビスマルク號攻撃戰に參加、これに致命傷を與へたものと同種のものであり、連戰連敗の苦境に喘ぐ英國が自稱一等海軍國の面目にかけても日本に反撃を加へんとすれば さしあたりこの雷撃機によつてわが艦隊主力の奇襲を試みんとして コロンボその他に最近この種雷撃機を多數配してゐた英の企圖は、わが無敵海軍に憐れにも 粉砕され印度洋初海戰の赫々たる戰果はまたもや燦として世界戰史の一頁を飾り、印度を抗日戰に引込まんと右方狂奔しつゝある 英國に絶望感を與へ印度人に決斷を促す重大示唆を與へたものである

（1）アルバコア（2）スオードフイツシユ（3）デフアイアント

撃沈甲巡の性能

甲巡ロンドン型 排水量九千八百五十トン、速力三二・五ノット、乘員六百五十名、備砲二〇・三センチ砲八門、一〇・二センチ高角砲四門、四・七センチ砲四門、高角機銃十四門、魚雷發射管八門、カタパルト一機、水上機一機

コンウオール型 排水量一萬トン、速力三一・五ノット、乘員六百七十九名（戰時編成七百十名）備砲二〇・三センチ砲八門、一〇・二センチ高角砲八門、高角機銃二十門、カタパルト一機、水上機三機

甲巡撃沈、英も自認

【リスボン九日同盟】ロンドン來電英海軍省は甲級巡洋艦コンウオール號ほか一隻が、印度洋上において日本軍航空部隊の攻撃を受け撃沈された旨九日發表した

海鷲の好餌、英機性能

デフアイアント 英國バウルトン・ポール會社製の複座戰鬪機で、千三十馬力發動機一基を備へ、速力極めて早い新鋭機である

アルバコア 英國デハビランド會社製で複葉の雷撃および偵察機、發動機は千六十五馬力一基を備へ、特色としては車輪の代りにフロートを附し、水上機としても使用可能であり、翼は折疊み式になつてゐる

スオードフイツシユ 英國フエアリー會社製の雷撃機、偵察用水上機複葉で發動機は七百七十五馬力一基、このスオードフイツシユは最近では雷撃專門に使用されタラント攻撃やビスマルク攻撃戰に際しこれに致命傷を與へて一躍有名になつたもので、これをさらに改良したのがアルバコアで急降下雷撃が出來る英海軍の虎の子新鋭機であるが、これらをもつてわが方を撃滅せんとしたものが却つて潰滅させしまつた

揚子江下流部隊
三月中綜合戰果

【漢口九日同盟】揚子江下流陸軍部隊の三月中における綜合戰果左の如し

交戰敵兵力約三〇、〇〇〇、交戰回數三六〇回、遺棄死體三、〇五二、捕虜一、六四三、歸順兵一、八九六、鹵獲品＝武器彈藥多數

右捕虜のうちには淸郷工作の捕虜四〇一、太湖周邊作戰の七〇二を含む

（印度洋上を飛翔するわが海軍最新鋭攻撃機の雄姿（海軍省提供海軍省許可第五七一號））

ジヨンソン斡旋に乘り出す

【リスボン九日同盟】國民會議派とクリツプスイギリス使節との直接談判が暗礁に乘り上げた結果、いよいよジヨンソンアメリカ大統領特使が斡旋に乘り出したものの如く、八日のニユーデリー電によればジヨンソンは同日ネールと會見妥協の新方式につき協議したと傳へられる、ジヨンソンは右會談の結果に基きサンリスゴウ印度總督、クリツプス及びウエーベルと會見し新方式に對するイギリス側の意見を求めたが、一方ネールも國民會議派運用委員會においてこれを報告、委員會は九日中には態度決定の段取りといはれる、ジヨンソンが調停役を買つて出たことからロンドン、ワシントン、ニユーデリーの間に折衝を必要とする關係上交渉は複雑化を豫想されるが、いづれにしても國民會議派は急速な交渉を進める用意あるものの如くアザツドおよびネールの兩人は今少しくニユーデリーに滯在するものと見られる

全政治的權限を
即時讓渡せよ
英國修正案へ印度側の拒絶理由

【リスボン八日同盟】遣印特使クリツプスより國民會議派議長アザツドに對し手交された英戰時内閣の修正案は國民會議派運用委員會の拒絶するところとなつたが八日ロンドン電によれば右拒絶理由は左の如くである

一、國民會議派は印度人に對する防衛權の全面的讓渡を含む全政治的權限を即時印度側に讓渡すべきことを要求する

一、英戰時内閣は去る四日の閣議でクリツプスに對し最大限の讓歩をなすべき權限を附與したものと信ぜられるにも拘らず、原則的問題に關しては次の二點につき留保を附してゐる

（イ）英國は聯合國の統一作戰に基き印度防衛の責任をとるべきこと

（ロ）英國は一般に軍隊の統轄上影響ある軍需品の生産およびその輸送についての責任を有すること

一、右の結果印度自治領の提案を行詰まりに逢着せしめたに拘らず英國は何ら讓歩の意思がない

纏らぬ運用委員會

【リスボン九日同盟】國民會議派ならびに回教徒聯盟の運用委員會は、八日の會議においてジヨンソン米大統領特使提案の妥協新方式につき協議を重ねたが、いづれも決定をみるに至らず九日再度委員會を開催することとして散會、一方

回教徒不可を決議

【リスボン八日同盟】ニユーデリー來電によれば全印度回教徒會議は八日クリツプス提案を拒否し要旨次の如き決議を行つた

英國の提案は回教徒を滿足せしめず絶對に受諾し得ない、特に同案が各州に對し印度聯邦に參加すべきや否やを決定する權限を附與せんとしてゐるのは不可である、印度の統一保全の偉業こそは印度人の福祉のため肝要なのである

なほ全印度回教徒會議は一九二八年回教富有階級の利益を代表して組織されたものである

政治的獨立要求
ネールの英案反對理由

【リスボン八日同盟】印度國民會議派の英國新妥協案拒絶は、結局において印度國防の全權、印度の完全な政治的獨立に關する當初の方針を堅持してゐるものと見られロンドンにおける印度人消息筋も英修正案に對するネールの根本的反對理由として次の通り擧げてゐる

一、印度が戰場となつた場合印度人は單獨または聯合軍とゝもに敵に直面するであらう、從つて印度人獨自の政府のみならず獨自の防衛權を含む完全なる政治的獨立が印度人に與へられた場合のみ印度は、侵略國に對する徹底的抵抗を行ふため無盡藏の人力と資源を十分に動員することが可能である、その際印度人は英米の軍事指揮權を認める用意がある

ネールは委員會後クリツプスと會見、三十分間にわたつて意見交換を遂げた

ソ聯運輸委員會議長代理任命

【モスコー八日同盟】ソ聯最高會議幹部會は六日附をもつて交通人民委員ラサール・カガノヴイツチを解職して新設の運輸委員會議長代理に任命、交通人民委員の後任にはアーブエー・フルリ氏を任命した旨發表した、新設の運輸委員會は全陸運、海運、河川運輸を管掌し全國家的輸送計畫の作成遂行に當るものであり、運輸機關の全聯邦的合同を意味する重大なる國家的機關である

加太平洋岸に遊撃隊編成

【リスボン八日同盟】オツタワ來電によれば日本軍の目覺しい戰果擴大に怯えるカナダでは今回太平洋岸に遊撃隊を編成することになり八日國防相ラルストンはその旨左の如く發表した

今回太平洋沿岸に遊撃隊を編成するとゝもにこれが訓練に當る戰鬪訓練機關を設置することになつたが右遊撃隊は主としてブリテイシユ・コロムビヤ州各地の木樵その他勞働者をもつて組織する

建川大使けふ京城着

歸朝の途にある建川前駐ソ大使一行は、十日午前十一時五十分着〝のぞみ〟で京城に途中下車し、直ちに宿舍朝鮮ホテルに入り少憩のゝち午後一時から龍山軍司令官官邸の板垣軍司令官招待午餐會、同六時から總督官邸の總督招待晩餐會に臨み十一日午前零時十分京城驛〝ひかり〟で一路南下する

井野農相西下

【東京電話】三重縣第一區より立候補することになつた井野農相は十日午後十時卅分東京驛發西下、十四日午前八時歸京の豫定

重光大使、首相と要談

【東京電話】重光駐華大使は九日午後一時、首相官邸に東條首相を訪問、歸朝の挨拶をかね種々要談を遂げた

總督府辭令（八日附）

[illegible]

―人―

◇原田大六氏（京畿道警察部長）新任挨拶のため九日來社

◇瀨戸道一氏（咸南知事）新任挨拶のため九日本社來訪、赴任は十一日午前七時五十分京城驛發

◇丹下郁太郎氏（京畿道知事）家族同伴十三日午後二時二分京城驛着任

◇石田千太郎氏（本府厚生局長）東上中、十七日「大陸」で歸任

わが印度洋進撃に
英防衛軍絶望視
未曾有の脅威と悲鳴

ストツクホルム特電【八日發】英印會議の危機に加へてコロンボ爆撃、印度東岸、ビルマのアチヤブ爆撃など日本海軍の進攻態勢展開により、印度の軍事的危機切迫はイギリス國民および印度防衛軍當局を未曾有の不安に驅り立てており、日本軍今後の印度方面作戰の進展に全神經を集中してゐるが、八日のカルカツタ電は英印軍權威筋の意見として次の如く防衛軍當局の絶望的見透しを報じてゐる

日本のコロンボ、印度諸港の爆撃は、印度防衛に取つて英の印度統治上未曾有の脅威である、これが人心の動向に及ぼす政治的影響は測り知れざるものがある、日本軍のビルマ、印度本土、セイロン島などに對する各種作戰は今後一層激化することは必至だが、もしセイロン島が日本軍によつて確保された場合は日本軍はイギリスが誇つたシンガポール、ラングーン、コロンボを結ぶ印度洋戰略三角形によつて印度洋を中心とする西南北いづれの方面にも、自由出撃の態勢を取り得るであらう、その結果はイラン灣要塞、バーレン諸島、紅海の玄關アデン、西印度洋の鍵モーリシヤス諸島のポートルイ、南半球英領の神經南アメリカのサイモンス、タウンなどは累卵の危きに逢着し

一、スエズ、アデン、ペスラ（イラン）
二、サイモン、タウン、ポートルイー、ボンベイ
三、サイモン、タウン、シドニー（濠洲）のイギリス海上ルートは全面的危殆に瀕する外、日本軍は印度本土西亞の軍事的フクハンドルを確保、アレキサンダー大王にも比すべき大仕事をやることとなり、その結果樞軸は陸路西亞細亞を通じて握手可能となり、その戰略態勢は史上空前の強味を發揮することとなら

血で綴るマレー戰記

作戰主任參謀談話

（3）

アロスター橋梁奪取の肉彈戰

次にアロスター方面の戰鬪では橋梁が多く、それを抑へるのに大變苦心した、自動貨車に乘つた兵がアロスターの橋梁に向つて非常な勢ひで突進して行つた時恰度印度兵から猛烈な射撃を受けたが、オートバイに乘つた下士官二名はいきなり橋梁の上を突破、敵の陣地に飛込んで敵兵と格鬪を始めた、その瞬間他の一隊は橋の兩側にある爆藥導線の電線を切斷しようとした、今まさに切らうとした時アロスター橋梁は大爆音とゝもに吹き飛んでしまつた、彼等の體は三百メートルも吹き飛ばされその死體はいまだに判らない、かうして敵の注意がその方に集中されてゐる間にすかさず他の一決死隊が別の鐵道橋を確保した、このため後の自動車部隊はなんらの支障もなく進撃することが出來たのである、これは實に三勇士以上の勳功である

イロ突破に舟艇機動作戰

こゝからクアラルンプールに出る一本の鐵路を如何に迅速に切り拓くかが問題になつた、それでシンゴラから民船五十隻を汽車に乘せて印度洋に浮べ敵の背後に廻つて奇襲上陸を敢行しようといふ大それた作戰をとつたのである、そこへ恰度到着した〇〇、〇〇兵團の新鋭主力を加へ飛行機と周到な連絡をとつて上陸作戰を敢行した之が成功して英軍の指揮官は完全に悲鳴を擧げたのである、この戰法がマレー全般の攻略の上に非常に大きな影響を齎したのである

スリム殲滅戰

次にその途中で行はれたスリム殲滅戰は突破戰法を理想的に行つたものである、完全に約一個旅團を殲滅した、この息の根を止めた人で、この部隊に戰車一個中隊を配屬して突破したのである、一月七日朝この戰車部隊と工兵と一緒になつて午前五時を期して緊密な協同作戰のもとに敵陣地の突破を强行した、この丸谷工兵部隊は戰鬪力强る中隊で、ジャングルのなかを苦心して、敵の退路に出た步兵、戰車、工兵、完全に一體になつて堅固な陣地を片ッ端から突破して直ちに橋梁にぶつかつたが橋梁は電線が張つてあり爆破の裝置が施してある、その時田邊といふ戰車兵は敵の重機關銃の亂射を浴びながら敢然突進、間髮を容れず、その電線を切斷、敵の橋梁爆破を完全に防いだ、さらに數ケ所においてまづ敵の步兵を體當りで擊破、あるひは敵戰車を蹂躙して粉碎、廿キロにわたつて全縱深を突破してしまつた

わが戰車が後刻確保した橋梁は百メートル位のものでこの橋を渡つたところに敵の旅團司令部があつたらしいが、戰車十台で集中射撃を浴びせ敵旅團長は吹き飛んでしまつた、この橋梁を突破してさらに敵の重砲陣地を奪取したが戰鬪終了後調べると敵の十五糎砲はわが砲彈によつてさんざんに大穴をあけられ、全彈をうけて粉碎した、敵戰車の銃手は銃把を握り運轉兵はハンドルを持つたまゝ瞑目してゐる、大きな戰車と戰ひ鹵獲しスリムの橋梁を奪取確保して約一日間孤軍奮鬪する、この間後方から追及してゐた步兵が近寄つて一月八日の夕方この一個旅團を完全にやつつけてしまつた、戰果は偉大なもので大砲三、四十門のほかに、野砲山砲も鹵獲し、自動車五百輛は無傷のまゝ鹵獲、これが爾後のジャングル突破戰に非常に役立つたのだ、敵の一部はジャングルに逃げこんだがこの邊は一步でも道路を外れるとどうにも動けない、もちろん食糧はなし一週間もたつと悲鳴を擧げて悉く捕虜になつた

タンジョンマリムからは海上機動の舟艇部隊をもつて敵の退路を遮斷、一氣呵成にぐんぐん敵線を制した、この電撃戰によつて次々とマレー半島の要衝を攻略したがなかでもクアラルンプール陷落の民衆に與へた影響は極めて大きかつた

マレー東岸部隊

マレー東岸コタバルに上陸した部隊は最も果敢な戰鬪を續け、一方航空部隊と協力して敵飛行基地を奪取一個旅團の敵を包圍して同地附近一帶を制壓した、其後嶮しい道を突破、クヮンタン飛行場を攻略して有利な態勢となり、メルシンへもこの戰果によつて容易に進むことが出來た、こゝでは敵の五十六歲になる旅團長ケウマスを捕虜にしたので、敵の配備狀況を聞くと彼は國際陸戰法規上捕虜には軍事上のことを聞いてはならぬとなかなか强情だ、見上げた度胸だと感心したが翌朝になつて彼も腹は減るし蚊は凄い、それにスコールに叩かれ、さすがに參つてなんでもいふ「日本軍が常にトーチカの後方ジャングルを突破して裏から、裏からとあまりにも不意に攻めて來たので逃げるより外に手段がなかつた、なぜ日本軍は定石通り戰はないのか」と告白する、海の正面ばかりに氣をとられ陸正面はジャングルに氣を許し堅固な防禦施設をしてゐなかつたことが判つた

肉彈に次ぐ肉彈

信念で征く"獅子港へ"

マレー東海岸に上陸するのは海正面からの作戰は極めて困難である、そこで上陸後陸上から敵の背後に出て虛を衝くといふ常識では考へられない戰法をとることゝし、軍としても苦心慘憺して案を練り、兵隊は一週間分の糧秣を擔ぎ海岸を傳つて南下どんどん猛進擊を續け一日に九里十里平均に進んだ、西岸進擊部隊の作戰も同樣常に敵の虛を衝くとゝもに立直る餘裕を與へず、同時に味方の損害を少くするためにもこの强行作戰を終始敢行したのである

クアラルンプール ゲマス占領以後

十一月八日シンゴラに上陸以來不眠不休でマレー半島中央を北より南に急追擊をつゞけて來た〇〇兵團は大部疲れて來たため一時これを休養させることゝし、別に新鋭の戰車隊それに上海戰にも出た勇敢な工兵隊さらに步兵隊の一部をもつて部隊を編成し息をもつかせず敵を急追突進し、鐵道確保を圖るとともに破壞された橋梁を修理しながら一擧にゲマスに向つて追及せしめた、その間三日間の休養を與へられて英氣回復した中央突破〇〇兵團は鹵獲したトラック自動車などに分乘してすでに修理を終へた鐵道道路百五十キロの途を一氣に突進した、かくして途中休養して一息入れたこの部隊は作戰的には何ら遲れることなくゲマスからジョホール作戰と常に西岸〇〇兵團と併行しながら敵の退路に向つて追擊を加へることになつた

このゲマス・ムアールの戰ひは實に熾烈を極め敵も頑强に抵抗をつゞけ中隊長以下枕を並べて戰死するなど激戰の模樣は想像以上のものであつた、西岸部隊の大隊は大隊長を失ひ遂には中尉が指揮をとつて奮戰したといふこともあつた、しかしこの部隊はそれだけに偉大なる戰果をあげてゐる、敵側がかくも頑强に戰つたのは新鋭豪州師團を迎へて最後の線としてゲマス、ムアールおよびクルアン、バツアナムにこれを配してジョホール死守の頑强な抵抗を企圖してゐたがためであつた

シンガポール攻略

シンガポールは私どもの判斷では陸正面の防禦については大したものではない、海正面は四十五サンチの大砲數門のほか大小の火砲無數……すなはち大砲は砲一門に對して彈丸一千發といふ非常に多量の彈丸と、船〇〇艘を準備する、しかし攻略兵力としては軍の全兵力を使用して一兵も殘さず堂々兩方面から全兵力を出すといふ案を立て、この案に從ひ後方に要求した、これに對しある人はそれだけの彈丸を用意して一體どうするのか、敵はそんなに强くないではないかといふ、それに對し軍は戰ひの準備は絕對に最惡の場合に對する最善を盡すのが要訣だ、どうしても彈丸は一門一千發として貰ひたいと要求し、これと同時にコタバルに上陸して東海岸を南下してクヮンタン方面にあつた東岸部隊をひそかにシンゴラに引返へさせてトラックで南下シンガポール攻略戰に參加せしめることゝした

紀元節には陷す

これは東京下關間に相當する距離を下關から東京までトラックで逆へに行つて戻つて來るといふやうなもので日本ではとても考へられないことであるが途中敵の抵抗によつて無駄な損害を生ずるよりも安全なところを運んで一兵も傷つけたくないといふ見地からさういふ決意をしたのである、その後上陸出發地點を變更して一月三十日海峽を迂回してタイピンに出てそこから出發させた、私の十一月廿三日の日記帳を見ると作戰計畫表にシンガポールを二月十一日の紀元節に陷す、ジョホールバールは一月卅一日だそれから逆に考へてクルアンの既定コース突破は一月廿五日ゲマス、ムアールの線は一月廿日、クアラルンプール一月十五日と頭の中で紀元節にシンガポールを陷すと深く念願してゐた、作戰豫定期日表を自分の頭に描いて結果を見るとクアラルンプール攻略は三日早く奪つた

ゲマスの線は五日早く、クルアンの線も大體豫定表通り一月廿五日、ジョホールバール一月卅日とそれぞれ完全に陷入れたのである、それでシンガポールに押寄せたのだが、その綜合戰果はすでに發表された通り一千百キロといふ戰線を五十五日間に突破した、完全に一日廿キロその間の戰鬪九十二回であるからジョホールバールまで橋梁の修理二百五十、一日廿キロ突進二回の戰ひをし五の橋梁を架け直すのが五十五日間連續したわけだ、かやうなことは從來の戰史にないところの記錄だといひ得る、しかしてこれは全く戰ひの序幕であり本當の戰ひはシンガポールと考へて攻擊の準備をした、かくてこの新鋭の〇〇、〇〇の兵團は直接敵の脇腹に向つて匕首を入れよう、〇〇、〇〇兵團をもつてジョホールの眞正面に向はせ〇〇、〇〇兵團を東側に廻す、かういふ案を最初たてた、クアラ、ジョホールの作戰經過を觀察してみると〇〇、〇〇兵團は損害がかなり大きい、〇〇、〇〇兵團は新鋭であるが、敵も兵力を增加してゐる、それに外國電報などによればシンガポール撤退の意圖なく最後の一兵まで死守を命じたといふのでわが軍としても絕對大丈夫な案である、軍の全力、一兵一銃全力をこの方面に集中する

敵陣に集中戰法

そして地形、敵の配備などを考慮して敵の弱點を測定してやらう、それに對しては事前に企圖を祕匿されてはならないといふことが第一條件になつて敵の正面に分散せしめず、牽制して敵陣地の一地點に集中せしめるといふ戰法をとつた、そこで各兵團の狀態を考へ綜合的な積極的態勢をとらせ〇〇、〇〇兵團は海岸に縱列を作り〇〇、〇〇兵團は後方のゴム林の中に徹底的に隱した、さういふ基礎態勢のもとにジョホールに軍の全砲兵を集中するとともにジョホールバール一帶の住民を三日以內に廿キロ以北の地域に撤退を命じて無住地帶を造つた、我が自動車を驅つて見て廻ると恰度私の子供と同じ年齡から八歲位の子供が母親に手を引かれ、赤ん坊を背負ひ家財道具を擔ぎ、或は重い荷物を持つた疲れきつた住民の姿を見、思はずほろりとして顏を外向けながら全住民の撤退を斷行したが三日間で終つた、これは企圖の祕匿上やむを得ないことであつた、彈藥一箇一千〇〇、〇〇兵團の步兵が正面から舟をもつて渡りウビン島の敵前上陸を敢行した、しかるに敵の兵力は案外少くこの方面からの反擊は一向手應へがない、八日河岸から砲擊を開始し何んとか敵は應戰してくれと念願するが無駄であつた出來るだけ抵抗を期待してやつたが、遂に敵は戰ひにはならないそのまゝ攻擊に出てゐると敵彈が少し激烈となり少し脈があるやうになつた

貫戰"態勢確立へ

鮮滿華連絡會議開く

大連特電【九日發】大陸各地域首腦者會議は既報の如く九日午前十時より關東州廳三階特別室に開催

滿洲國よりは武部總務長官、古海經濟部次長ら、關東局より三浦總長、柳井州廳長官、朝鮮側より上瀧局長、伊藤同物田事務官、片坂商工課長、華北側から華北連絡部長、經濟部第一局長、蒙疆側同協總務部長、これに滿洲、朝鮮、北支、蒙疆の各關係者出席

會議は首腦者のみの圓卓會議で自由討議に入り、開會の諸問題について協議、正午休憩、午後一時再開した、中心議題と目される諸問題は左の通りである

一、大陸連絡會議の設置ならびに運用

一、大東亞建設に對する大陸諸地域の積極的參畫問題

一、大東亞戰爭完遂に即應する大陸經濟の再編成問題

一、大陸諸地域における重要政策企畫の相互連繫協力問題

一、大陸地域間の産業分野の新體制

大連特電【九日發】滿鮮、華北、北方大陸各地域が一體となつて大東亞共榮圈建設の大なる設計に參畫すべく大連方面會議の「大陸連絡會議」は九日午前に引續いて午後一時再開、大東亞建設促進體制確立への前提をなすべき各地域の實情につき、それぞれ報告があり、三者間の實情がこゝに明かにせられて大きな推進力となつたが、その報告事項は次の通りである

（1）大東亞戰完遂に伴ふ協力の方針

（2）統治の根本方針

（3）民心の動向、治安狀況、思想問題、民族融和問題

（4）各地域の特異性、今後の方針、相互協力の方策

右の各項目に率直なる意見交換の結果、相互の諒解は一段と深められ、その細目的問題としては鐵、電力、石炭、農作物、鹽、棉花等の資源並に物資の交流に伴ふ化學工業、鑛工業、生必工業、機械工業等の立地條件に即應する産業分野の劃定につき第三者間の連絡協議もまた樹立され各地域の總力結集發揮すべく政治的素地がこゝに確立を見て盟主日本を中心として逞しい强化を見せつゝ、大東亞共榮圈建設の大なる構想に從來の一國主義を一擲、積極的に參畫協力し、大東亞戰完遂に親邦日本と相提携して北方の實力を顯現すると共にガッチリ組んで邁進する實踐意欲の昂揚に劃期的效果を收めて同六時閉會した

綜合的經濟計畫を樹立 日本へ寄與せん

―列席の上瀧殖産局長語る―

大連特電【九日發】會議開催に先立ち上瀧本府殖産局長は語る【寫眞＝上瀧局長】

◇……滿洲と朝鮮間の會議は過去三回、關東州間の協議は二回の開催を見てをり、鮮滿華間の物資交流諸問題は一應解決してをるも、石炭、農産部門の如きは各部門別に了解を遂げたのみで、三者間の綜合的な輸送計畫その他の打合せが出來てゐないので今次の大連會議にて一同の意見の交換を行ふものである

◇……從つて議案の指示はない、併し交流物資の數量その他微細に亘つたことに就いては、會期が餘りに短かく、かつ到底纏まり得ないと思ふ

◇……今度の協議會では綜合的な物資流通計畫を樹立し、大東亞戰を遂行しつゝある日本への全面的經濟寄與の決意を固め實踐を期し、輸送、需給などの諸問題に關する總合的對策を考究するものと思ふ

食料品確保に 綜合配給を考究

鮮魚、食肉の需給を確保するため食糧部では各局と協力し食料の綜合配給確立方策につき銳意研究を進めてゐる、すなはち最近の鮮魚牛肉など食料供給不圓滑の主因は一部食料の不足が全體の需給に大きく影響してをり、たとへば鮮魚の出廻り不振で牛肉に需要が殺到しさらにこれが他の食料品にも波及して食料全般の需給に影響するといふ具合で個々の局部的對策では到底解決され得ないので同部では配給機構の整備、生産の確保、消費規正、道ブロック化の是正、價格調整の諸點につき全面的かつ綜合的對策を樹立し國民生活に必要とする最低食料品の確保をはからんとするものである

翼協推薦 四百七十一名

【東京電話】翼協では九日沖繩二名、福岡、兵庫各一名、計四名の追加推薦者を決定したので翼協推薦候補者は合計四百七十一名となつた、その內譯は

現議員二百三十四名（議同二百七名、翼壯十名、議俱十名、興同五名、無（一名）元議員十九名、新人二百十八名、計四百七十一名である

立候補届出

○印…推薦候補者

【沖繩縣】▲平良辰雄▲伊禮肇、屋比久孟德

【大分縣】＝第一區＝鷹月學、佐藤海人

【熊本縣】＝第一區＝吉田安

【佐賀縣】＝第二區＝大瀧能次、森峰一

【鹿島縣】＝第一區＝平野豐

【東京府】＝第一區＝田中正義＝第四區＝井田友平、內田俊之助、菅原通吉＝第六區＝橫山淸一

【新潟縣】＝第三區＝佐藤謙之輔＝第四區＝田村秀太郎

【福岡縣】＝第二區＝松金弘、國松兼武、西田隆男、菅原長次郎＝第四區＝末松偕一郎

【京都府】＝第一區＝竹井喜太郎

【島根縣】＝第一區＝櫻內幸雄、原夫次郎

【兵庫縣】＝第一區＝竹田伸爽

＝第三區＝黑田巖

【岩手縣】＝第二區＝岩間尹

【群馬縣】＝第二區＝肥田文作、＝第三區＝加藤淸七

【岡山縣】＝第一區＝大森健

【愛媛縣】＝第三區＝毛山森太郎

【石川縣】＝第二區＝重山德好

【富山縣】＝第二區＝綿貫佐民

【栃木縣】＝第一區＝金子益太郎

【福島縣】＝第一區＝釘本衛雄

【長野縣】＝第二區＝片倉兼太郎

【長崎縣】＝第三區＝福田萬治

【北海道】＝第三區＝木下源吾

【和歌山縣】＝第一區＝津田淸一郎、島本次信

【神奈川縣】＝第二區＝山本庄一

【滋賀縣】＝服部岩吉、坂崎源之輔

【大阪府】＝第一區＝松野友海

【山口縣】＝第二區＝水田新之允

【愛知縣】＝第一區＝▲加藤鐐五郎

【熊本縣】＝第一區＝松前龍義＝第二區＝古川淸貫

【埼玉縣】＝第一區＝島田秀治

【千葉縣】＝第二區＝角田保

なほ新人推薦候補者中立候補を辭退したものは現在片平七太郎（福岡一區）野口喜一郎（北海道一區）前田憲治（北海道一區）植村武一（奈良）森田常雄（福岡二區）の五氏で、若干の辭退者もある模樣で本部では支部の意向と選擧區の情勢を考慮し適任者があれば追加推薦を行ふ方針である

【東京電話】翼協では缺員となつてゐた沖繩縣の一名ならびに立候補を辭退した福岡縣第二區森田常雄氏および兵庫縣第五區中瀨三郎氏の後任を左の如く補充決定した

【沖繩縣】渡邊惠和、伊禮肇

【福岡縣】＝第二區＝吉田敬太郎

【兵庫縣】＝第五區＝山川賴三郎

戰時下最低の負擔

本年度の朝鮮豫算

水田局長講演

【東京特電】九日午後一時中央朝鮮協會において行はれた水田財務局長の本年度豫算に關する講演內容の一部は次の如くである

十七年度豫算は十一億二千四百萬圓で、本豫算は十億一千五百萬圓、追加豫算は一億九百萬圓で、これを昨年度當初における豫算九億九千六百萬圓に比すれば一億二千八百萬圓增となる、これを日韓合併當初の豫算に比すれば廿三倍の大膨脹をみてゐる、今年度豫算の特徵をみると

一、戰爭遂行に必要なもののみに限つたこと

二、資材と能力の睨合せが嚴密に行はれてゐること

三、官業收益の繼續的膨脹增加が資材等の關係で減少しつゝあること

等である、租稅收入は租稅、官業收入、公債、政府よりの補助金等であるが、今年度の稅收入はこの度の增稅の結果一億九千萬圓に達してゐる、この額を朝鮮在住者の勤勞所得に比較すれば、總所得額は大體卅億から卅五億と推定さるから[illegible]に當るのであつて、之を戰爭下における外國の國民所得對租稅負擔の比率と比較すればイギリスは卅一パーセント、ドイツは卅七パーセント、稅の少いといはれるアメリカでも十四パーセントであるから、朝鮮の九パーセントは戰時において最低の負擔である點を認識されたい

全南 ……【1】……

總力運動と併行 目標達成に邁進

官民一體完璧の布陣成る

【光州】長期戰遂行のため穀倉全南では增米計畫に一層拍車をかけてゐるが、本年度苗代、準備作業を既に昨年末から實施して、各般に亘る準備を整へつゝあるが、特に苗代跡地及び大麻跡地栽培の改善、耕種の改良、肥料の研究、水畓施設の徹底化、增米增産等に力を入れてゐるが、これら增米計畫は總て各級總力聯盟と緊密なる連絡をとり、總力運動と併行、官民一致協力して文字通りの道民總動員の體制のもとに目標完遂に邁進してゐるが、十七年度米穀增産計畫の內容は次の通りである

苗代 各部落部落に對し集合苗代の設置を行ひ、これには用水並に運搬作業の集合等を考慮して、水利組合區域外にありては部落聯盟又は愛國班を單位に設置させ、一集合面積は最近苗代面積一反步とし面積は過大に亘らざる樣にすること、又水利組合地區にありては全面的に集合苗代を設置することにし、成るべく水路幹線に沿ひ點在的に集合苗代を設置して用水の節約を圖る、特に十七年度から以降二ケ年計畫として苗代小畦畔の設置を全體的に普及させ、苗の定着と浮苗の弊害を防ぐことにしたが、小畦畔の一區面積は概ね三十坪程度とする

次ぎには床面の均整と肥料の均一なる施用を行ひ、苗の生育助成と稻熱病發生を未然に防ぐことにし、種籾並びに均播の勵行を徹底させ、苗代各種肥料の樹立は勿論播種前に區域擔當指導者の檢查を受け、檢查合格證を標木に貼付せしめる、病蟲害對策と勞力不足の對策として一段增き苗代設置を實施することにした

苗代跡地及大麻跡地の栽培改善 苗代跡地及び大麻跡地の栽培改善には本道獨得の"段植法"を實施して、來年度まで、全面的に完遂させることにして、これには石灰の使用と堆肥の使用を行はせ、大麻跡地における大麻栽培込は腐熟すると共に、昨年の實績に依つて苗代大麻跡地は稻熱病發生する地多く、これには特にクボイトの撒布を數回行はしめることゝなつた

水畓 十六年度から五ケ年計畫で實施されてゐる畦畔及び畦畔塗りを全面的に完遂を期して、特に本年度においては道路溝渠の溝渠等の縱目に漏れ易き場所から着手してこれが効果の周知に努め、常會夜間講話會の開催並びに印刷物の配給を以つて畦畔の徹底を期することになつた、共同作業の實施に依り適期作業を勵り前年度の經驗に鑑み深耕、畦折苗及び淺植に依る浮苗を事前に防止するため、植付方法の訓練を施してこれが改善に努めることである、同時中耕除草及び除稗の徹底と春耕並びに秋耕の勵行を爲し從來の實績に徵して本年は勞力需力の配分を考慮し、豫め早春耕に對する具體的實施計畫を樹立し、解氷後三、四月頃まで全面的に耕起に着手せしめ、收穫前の農閑期迄に二回以上春耕を行はせることにしたが、本年度道內各郡別の耕起面積は左記の通り

光山二四四四▲潭陽一七九〇▲谷城一三二▲求禮九一▲光陽二〇▲麗水一三二▲順天二六二二▲高興一九五▲寶城二四五▲和順一七〇▲長興二〇二▲康津一〇二▲海南二六五▲靈岩二六一▲務安二四三▲羅州四五六▲咸平二四五▲靈光一六二▲長城二〇一▲莞島六一▲珍島一〇〇で合計四千三百七十八町である

增米へ！各道の構へ

朝鮮農會調査

食糧基地として重大なる責務を有する朝鮮では本年の米收二千七百萬石確保を目指して今や官民共に增米運動に大童であるが之が達成には先づ米作準備作業こそ最も肝要でその如何は直ちに收穫に大影響を及ぼすこととなり從つて各道とも準備作業の指導督勵には萬全を期しつゝあるが朝鮮農會では各道支部を通し米作準備作業の進捗狀況を調査したところ今日迄に得た狀況は次の如し

技術の刷新斷行

劃期的品質の向上へ

―有賀高周波社長入城談―

日本高周波社長有賀光豐氏は、九日朝京城驛着列車で入城したが、同社當面の諸問題について大要左の如く語つた【寫眞＝有賀氏】

◇……當社も漸く創業第一期を脫したのでこの際經營に再檢討を加へて刷新を斷行したいと考へてゐる、先づ技術方面にあつては原鑛の製造方式、すなはち從來の電氣製鋼法に工夫刷新を加へて大改善を行ひ、さらに製鋼技術の刷新改良を行ふつもりだ、この改良案を實施すれば、製鋼の品質もグッとよくなり製鋼量も增加する一方經營上においても機構改革を行ひ、京城本社に城津工場並東京本社の業務を調整し、社長のもとに一元的に機構を整備して今後の發展に備へたいと考へてゐる

◇……今回は右具體案を關係方面へ說明かたがた實行に移すべく來鮮したわけである

當社の事業內容については、從來各方面より兎角の批判があつたが、これは當社が創業以來急激に膨脹したゝめであつて、多少の非難はまぬかれまい、併しながら今後は從來の經驗にかんがみ一層經營に社業の向上發展を企圖して一般の期待に副ふやう努力したいと考へてゐる

日本高周波の電氣製鋼法といふのは學理的に未だ說明されてない點もあるやうだが、現實的には鑛業の革命で、劃期的なものである▲しかし全く學理的にはなほ可成りの改善餘地が殘されてゐたやうで▲かねて鑛山の工場で研究してゐたのが、今度漸く成功したとある▲製鋼過程や方式は別に變りはないが▲その結果第一號工の功果を得たとなり、當社の前途が大いに期待してよからう▲しかしこれはあくまで一時的のもので、低品位であらうが、高品位であらうが、同時に開發されねばならぬ時は必ず來る

第一萬二千三百七十四號　(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可)　【市内版】　京城日報　(金曜日)　昭和十七年四月十日　皇紀二千六百二年　【九日發行】

夕刊
京城日報
夕刊一部　定價金二錢
編輯人 印刷人 發行人 中野仲　元嶋 勵
京城府太平通一丁目三十一番地 京城日報社

佐藤駐ソ大使 デ次長を訪問

【モスコー八日同盟】モスコー滞在中の佐藤駐ソ大使は八日午前十一時ソ聯外務人民委員部にデカノゾフ外務人民委員部次長を訪問した

重慶の抗戰體制愈よ弱化の一途
前線への軍需品補給も杜絶
軍閥割據の傾向を誘致

【北京八日同盟】重慶政權の財政窮乏は最近いよ／＼深刻化し前線部隊への軍需品補給は全く困難化するに至つたので、軍政部では最後の奥の手たる各戰區の軍需自立自給制度を採用せざるを得なくなり、この程各戰區に對して本年度以降軍需品現地自給制實施を指令するに至つた、地方軍の軍需現地自給制實施は從來蔣介石が全國統一のため、强行しきたつた中央集權の放擲を意味し、地方將領の勢力擴大を助長し、軍閥割據の傾向を誘致するとともに中央の勢力が漸次稀薄化するは明かである、また各戰區においても軍需の現地調達强行につれ、軍政長官と民衆との間に深刻な對立を絕せしめるは必定で、共產軍の間隙に乘ずる策動もありつひに不安の徵候は各地區にかもし出されてゐる有樣で、重慶の抗戰體制はいよ／＼弱化の一途を辿つてゐる

財政の破綻必至

【南京八日同盟】當地に達した情報によれば重慶政權の財政狀態は最近ますます窮乏し財政破綻が不可避となつたため國民黨元老派をはじめ共產黨など擧つて本年度豫算に反對し孔祥熙の放埒無軌道な財政計畫を非難孔祥熙排擊の聲が再び熾烈化してゐるといはれる

樞軸の公約は絕對
印度の進む途は明白
伊紙正論

【ローマ七日同盟】ジョルナーレ・デ・イタリヤ紙主筆ガイダ氏は七日の同紙上に次の如き論說を揭載印度の進むべき方向に關し警告的論評を加へてゐる＝印度は今やイギリスの誓約に從つて日伊獨に抗して戰爭に捲き込まれるか、あるひは過日の東條首相の聲明に明示されてゐる如く三國側の約束に從ひこれと協力して米英に消極的抵抗をつゞけるかの岐路に立つてゐる、イギリスの誓約が單に文字上の約束に止る空手形でその公言は戰後にしかも米英の完全勝利まで延ばされることになつてゐる過去の經驗に徵しても米英の公約と保障とは破棄されるのが例である、印度の指導者は印度がイギリス帝國組織の生命の鍵を握つてゐる地位にあることを忘れてはならない、これに反して日獨伊の公約は現實に即し亞細亞人を米英の制壓から解放せんとするものである、印度の米英陣營に投ずれば印度は戰火により荒廢してしまうであらう、米英の勝利は到底望み得ないことである

ローマ法王 世界に放送

【バチカン市八日同盟】ローマ法王ピオ十二世は十四日全世界に向けラジオ放送を行ふことゝなつた、右放送は動亂の全世界に對し信敎上の立場から見解を發表するものと豫想されてゐる、因に初代バチカン特派公使原田健氏はビシーから十六日着任の豫定である

國民會議派を恫喝
ハ駐米英大使が誹謗演說

【ブエノスアイレス八日同盟】ニューヨーク來電によれば、元印度總督として印度の事情に通じてゐるハリファックス英大使は七日夜行はれたニューヨーク市公會堂における演說において印度問題に言及し國民會議派を誹謗して次の如く述べた

印度の指導者たちは英政府の提案によつて與へられた自治の機會をも拒否しようとしてゐる、もし印度に對するわれ／＼の最善の努力が失敗に歸したならば英國は印度既成政黨各派の大部分の協力を得ることなく全く獨力で斷乎その使命に邁進せざるを得なくなるであらう、國民會議派についてはわれ／＼は今日まで何ら彼らの協力を得た例はない、しかし國民會議派の如きも印度人全部に比較すればその極く一少部分に過ぎないのである

る、自黨のみが全印度を代表するといふ國民會議派の主張は九千萬の回教徒および印度教徒の大部分を含む印度民衆の牢敵により否定されてゐるのである、さらに諸土侯國も容易に國民會議派の策に踊らされることはない

大東亞戰の思想戰的意義
葬れ、米英文化
新秩序築く國民の責任 眞の敵・内にあり
奥村情報局次長の放送

奥村次長

【東京電話】大東亞戰爭は武力戰であるとともに思想戰である、特に戰ひが長期になれば敵側の宣傳謀略戰は熾烈となるに相違ないと奥村情報局次長は大詔奉戴日の八日午後九時のニュースに引續いて『大東亞戰中の思想戰的意義』と題しAKのマイクから放送を行ひ米英思想の一掃を强調するとともに『思想戰の敵はわれ／＼の心の中にある』と戰爭の新段階に處する一億國民に新たなる覺悟を要望した、放送要旨次の通り

◇……今日の大東亞戰爭はその規模においてすでに世界戰爭である、從つて開戰以來香港、マニラ、シンガポール、ラングーン、蘭印陥落に至る今日までの大戰果はあくまで緒戰であつて過日東條首相の談話にあつた如く『皇國隆替安危の決せらるゝは むしろ今後にある』のである、濠洲、印度にしても米英に與せんかその運命の明かなること過日の東條首相聲明もある通りである、また印度洋を制して地中海を繋ぐ今までのイギリス帝國ルートとして確保し、イギリス本國とその貴重たる印度との連絡を遮斷するの必要なることは申すまでもない、しかして米英を屈てとの大詔のもと、必要とあれば皇軍の步武はワシントン、ロンドンまで進まねばならぬ、しかも大東亞戰爭は大東亞の安定、延ては世界新秩序建設を目的とする限りそれには武力によつてワシントンで城下の盟を得たとしてもまだ充分なる目的を達したといふことは出來ない、何故ならば米英兵力は亡びてもその後に政治的に經濟的にまた文化的に米英の舊秩序が殘存する以上、この世界新秩序建設戰爭は斷じて矛を收めることは出來ないのである

こゝに大東亞戰爭が世界歷史を變造するためのもつとも高い意味でも思想戰たる理由があるのであつて若しこの思想戰にして敗北せんか赫々たる武力戰の戰果も一朝にして泥土に歸する惧れなしとしない

◇……然らば思想戰の敵とはなにか政治的に多數の名を藉りて責任回避を事とする所謂民主政治である、經濟的に幾らかの金をもつて人の生命を贖はんとする金權主義すなはち金本位主義である、さらに文化的には個人の權利を絕對として國家秩序を破壞せんとする自由主義個人主義である、さらに人間は機械の奴隸なりとして怪しまぬ唯物的科學主義にほかならない斯くの如き思想戰の敵に打ち勝つてこそ武力戰の戰果はいよ／＼輝き新秩序の建設にはじめて全きを得るものと申さねばならぬ、大東亞戰爭は一面戰爭一面建設の戰ひであるといはれる

今や西南太平洋一帶の地の武力戡定を終へてこれにつゞく建設の急務が荐りに叫ばれつゝあるが、こゝで注意しなければならないのは建設もまた戰爭であるといふことである、政治的經濟的にまた文化的に敵はまだ至るところにある、この敵と戰つて諸民族をしてその各能力に應じて所を得せしめ心から日の丸を仰がしめることを思想戰の眼目としなければならぬ、從つて建設としても決して戰爭の後にまたは戰爭と別個に存在するのではなく眞の建設は總力戰的の戰爭遂行のもとにのみ存在することを知らねばならない

◇……さらに特に强調したいことは思想戰の敵は單に外だけではなく內にある、すなはちわれ／＼自身の中にあるといふことである、明治維新以來わが國は七十有餘年にわたつて歐洲文化の攝取に努めて來たが、その弊がわれ／＼の思想の中にまた生活の中に知らず識らずの間に垢となつてこびりついてゐることを否定することは出來ない、數年來國內維新が叫ばれ新體制が問題とされねばならぬのは取りも直さずそのことを如實に要謂してゐる、外來文化を攝取したことは惡いのではない、また熱心かつ急激に攝取しただけにその國自ら彼らの長所と共に短所も混入して來たことは一應已むを得ないことであつたかも知れない、知識を世に求めて長所はとつてもその短所は捨てなければならない『知識を世界に求む』るのは『大いに皇基を振起す』ためなりとの聖詔を忘れてはならない

いまだに米英の武力とその文化とは別のもののやうに考へ米英の武力はやつつけても文化は尊重しなければならぬと考へてゐる人もあるかも知れぬが、これは誤りである、抑々この度の戰爭はその根本において左樣な間違つた米英文化の行詰りを打開するためにはじまつたのである

◇……武力戰は終つてもまだ戰爭は終らないと申したのもその意味にほかならない、畏くも一昨年三國同盟に際して賜りたる詔書において『爾臣民益々國體ノ觀念ヲ明徵ニシテ』と仰せられてゐるのであつて、常に思ひを國民思想の上に垂れ給ふ叡慮のほどまことに恐懼の至りである、かゝる有難き宸慮を拜して私共は國體明徵を明徵にすることは決して偏狹になることでもなければまた八紘一宇の寬容なる精神と矛盾するものでもない

國民思想の維新を希はずには居られない、殊に現在は曠古未曾有の大戰爭下であり、かりそめにも勝るべき秋に際會してゐる、米英文化の克服によつてその弊を排除し文字通り世界精神としての日本精神をますます光輝あらしめることこそわれ／＼の務でなければならぬ、世界文化が日本においてのみその精髓を發すといふことはそれらの文化が單に渡來したのではなく逆に最初日本から出たものが再び自家還元したものといふが出來る、われ／＼は最早明治維新以來はじめて日本は偉大になつたといふ迷妄を捨てねばならぬ、それ自身米英文化を絕對とする迷想に他ならない、しかして日本自らが新秩序を作らないでどうして東亞において世界に新秩序を建設することが出來ようか、さらに私達一人一人の國民がまづ

◇……今や米英文化は對米英戰爭を契機としてまさに一應清算さるべき秋に際會してゐる、米英的な物の考へ方および生活態度を改めないでどうして日本の新秩序をつくることが出來よう、かくて世界新秩序の問題は私達一人一人の問題に他ならない、思想戰の敵は外のみにゐるのではない、むしろわれ／＼の心の中にある、眞珠灣頭の花と散つた九柱の軍神に對して眞に己れに愧ぢざる人が果して幾人あらうか『いざとなつたら俺でも』といふのは言葉に過ぎない、從容もつて死につく心は平常からの自己訓練が必要である 今や思想戰の敵は至るところにある、この目に見えざる敵に對して一億國民一人々々が不斷に戰ひ物の考へ方なり生活態度を改めなければならぬ、そこに一億擧げての總力戰があり、思想戰のもつとも手近な實踐がある、遠くは世界新秩序より近くは私達個人の新秩序に至る凡ゆる意味において戰ひはまさにこれからである、內に外にわれ／＼一億がこの戰ひに勝ち拔いてこそはじめて世界新秩序を確立して大東亞戰爭の目的を達成することが出來るのである

征けぬ身は國債買つて御奉公

荒鷲、マドラスを强襲

【リスボン八日同盟】七日のマドラス發ロイター電によれば日本航空部隊はマドラスを空襲、ドック地區に約〇〇箇の爆彈を投下、港灣施設に若干の損害を與へたが、市街には爆彈を投下しなかつた

不退轉の總力結集
十六日から開催
總力聯盟理事全鮮大會

總力聯盟では第三回總力聯盟理事全鮮大會を十六日午前九時卅分から總督府第一會議室に招集、大東亞戰爭下半島二千四百萬總力員の總力總意の結集、不退轉の決意を新にすることになつた、當日は南總裁（總督）大野副總裁（政務總監）川岸聯盟事務局總長、鳥川總務部長以下職員各部長職員をはじめ全鮮から參集する一百餘名の理事出席、國民儀禮に次いで南總裁から、

大東亞戰下大陸兵站基地半島の負荷せる重大使命遂行に邁進するはもとより未曾有の征戰完遂のためますます總意總力凝結して崇嚴として難に赴くの大丈夫の精神を堅持すべきであり、このため上意下達、下情上通を一層密にし愛國班員直接指導の責任にある全鮮各道理事は創意工夫を旺にし清新溌剌、あくまでも大國民の襟度を持して勇往邁進するやう

印度洋上に敵艦船を求めて活躍のわが勇士＝海軍省許可濟、第五百七十一號＝電送

いであらう、もし印度人指導者たちがこの重要問題に對し無責任な行動をとれば印度は今次の戰爭で統一なき國民が味つたと同樣な運命を味はふであらう、過去において英國が印度に對し誤りを犯さなかつたと斷言し得る英國人は一人もない、しかし自由はユニオンジャックの旗の下にあることを確信して英國はなほ努力を續けんとするものである

米特使も一役

【リスボン八日同盟】ニューデリー來電によれば、國民會議派運用委員會は目下國民會議派領袖ネールと訪印特使クリップスとの間に意見の一致を見た戰時印度防衞問題に關する新方式について討議中といはれる、なほ右新方式を繞りネール、クリップス會談についてアメリカ特使ジョンソンも一役買つたといはれる

英第二次懷柔案

【ベルン（スイス）六日同盟】英國戰時閣議の結果決定された英國の對印回答は原案が印度各派の猛烈な反對を惹起したのにかんがみ多少の讓步を示した第二次懷柔案で內容は大體次の通りと報ぜられる

一、印度防衞のため印度人を防衞相に命ずるがこれは聯合國側の一般戰爭計畫の一部とする建前をとること
一、自治領の地位を與ふるにつき新な保障
一、英戰時內閣および太平洋軍事會議に印度人代表を出席せしめること

歲入不足額を無利子貸與
比島政府育成へ支援

【マニラ八日同盟】わが軍政當局との烈々たる訓示があり、續いでは過般比島行政部の一月廿三日以降四月卅日までの期間の實行豫算額七百八十萬六千二百六十ペソに對し承認を與へたが、同期間における政府一般歲入は徵稅組織未だ十分なる稼働を見ざる關係上百八十九萬七千二百六十ペソにしか達せぬので、同期間歲入不足五百九十萬餘ペソの調達に關しわが軍政當局と交涉中のところ比島行政部

大野副總裁から大東亞戰爭下全鮮理事大會招集の意義を述べ指示事項を提示して議事に入る、會議は大野副總裁統裁の下に
一、昭和十七年度歲入歲出豫算案審議
二、昭和十七年度事業計畫報告
三、昭和十六年度事業概要報告

四、諮問事項答申となつてゐるが、諮問事項『決戰下地方民心の動向』に關しては努めて地方の大東亞戰完遂狀況につき可能の限り各方面に亘り詳細なる意見の開陳を行ひ、以て地方施設の改正、合理化を計らんとするものであるが、特に食糧增產施設、婦人啓發運動の狀況、地方民心の暢達の事實を披瀝する

第三回全鮮理事大會は順調なる發展を遂げて來た總力運動がその目的たる半島施政の側面推進力としてその機能を全面的に發揮せんとするものであり、上意下達、民心暢達の運營を遺憾なく行はんと企圖するものである

米參謀總長
英首相と重要協議

【リスボン八日同盟】ロンドン來電によればアメリカ武器貸與局長官ホプキンス氏と參謀總長マーシャル將軍は八日爆擊機に搭乘して大西洋を橫斷、イギリス某飛行場に到着直ちにロンドンに向つた、その使命についてはイギリス當局は沈默を守つてゐるが、確聞するに兩者はアメリカの對英武器供給問題並に作戰の調整についてイギリス當局と協議を行ふものと信ぜられる

【リスボン八日同盟】ロンドン來電によれば、八日ロンドンに到着した米武器貸與局長官ホプキンスならびに參謀總長マーシャルは同日英首相チャーチルを訪問長時間にわたり重要協議を遂げた、右會談後兩者は新聞記者團會見において交々左の如く語つた

マーシャル　今回の訪英の目的は英作戰首腦部と一般問題につき協議を進めるにある、參戰當時の陸軍の兵力は百萬であつたがこの兵力は急激に增大し先月の如きは三個師團が新たに編成された、しかして今年の夏までには米陸軍は優に四個師團の割合で增强される

ホプキンス　余の訪英目的は生產相リットルトンと軍需生產問題を協議するにある、われ／＼としては出來るだけの武器を英國に送る筈であり、その他樞軸國と交戰中の國家に多量の武器彈藥を供給してゐる、米國の參戰以來の軍需生產は著しく增大しており、ソ聯に對する援助も著しく强化されてゐる

米、大西洋岸哨戒强化
獨潜水艦の活躍に怯ゆ

【リスボン八日同盟】ワシントン來電によれば、ノックス海軍長官は獨潜水艦の米大西洋岸における活動に關し七日次の如く言明した 米大西洋岸における獨潜水艦の船舶攻擊は過去一週間非常に減少した、これはおそらく米當局が最近船舶防衞方法を强化したためである、海軍は沿岸哨戒のために哨戒艇の數を增加しており今後さらに全長百十フイートの哨戒艇を二百隻、同じく百七十三フイートのものを百數十隻、百八十フイートのものを百五十隻建造する豫定である、軟式小型飛行船の引渡しもまた順調で、この飛行船は低速度をもつての長距離運行の特色を有し、また爆雷投下に素晴しい威力を發揮

―人―

◇片岡駿氏（師範朝鮮出張所長）九日『あかつき』で歸京
◇平井九一郎氏（故中澤大佐町葬委員長）町葬終了挨拶のため九日來社
◇山名松平郎、藤倉市、日良卯市氏（同委員）同上
◇磯崎廣行氏（本府司政局外務課長）新任挨拶のため九日來社
◇瀧澤誠太氏（本府厚生局社會課長）同上
◇加藤五十造氏（朝鮮無煙炭常務）八日『あかつき』で東上約二ヶ月滯京の豫定

時の錄音

英國の謀略工作は全印度各派に延びジンナー、ネールの懷柔に躍起である。
×
敵の手で早くも安勝出來たかの如く宣傳してゐるが果して如何。
×
印度民衆がこの機を逸したらもはや起つべき秋はないのだ。
×
帝國に抗すれば死滅あるのみ。
×
溫かき日本の手に縋るか、英國沒落の御相伴をするか、興亡の岐路にあるを知れ。
×
蘭印方面の大戰果は世界戰史にみない所だ。これ悉く皇軍將兵の血で贏ち得たものだ。
×
國民よ、心おごるな。

泰佛印國境劃定委員現地へ

【西貢九日同盟】泰佛印國境劃定作業は着々進行、三月末一五G號地帶附近の現地作業とメコン河の一部の實地測量を終り、さらにバイドンケオ方面、パウタンバン、プルササト兩州境の國境劃定の現地作業に着手することになり、日本側劃定委員井上總領事、梅本技師などは九日西貢發現地に向つた

するから潜水艦狩りに有效である

建川大使、京城にも一泊
けさ新京發奉天へ

【新京九日同盟】新京に一泊した建川前駐ソ大使は九日午前九時三十分發列車で新京を出發、途中奉天に下車、數時間を過した後『のぞみ』に乘換へ東上するが、京城にも立寄り一泊のはず

中央朝鮮協會水田財務局長から豫算問題聽取

【東京特電】中央朝鮮協會では九日午後零時半丸ノ內中央亭に水田財務局長を招待、午餐ののち本年度の豫算問題につき同局長の詳細に亘る內容を聽聽したが、同席上には同會長宇垣大將が親しく出席懇談に微笑を湛へて舊知の人々と談笑の裡に午餐を濟ませ、水田局長の講演を熱心に聽取午後二時散會した

東亞に買つて出る半島人の大和言葉

京師で劃期的錄音放送

大東亞戰爭を轉機に日本語の性格は飛躍的發展をし、戰ふ皇軍と共に大東亞共榮圈内において日本語は敵性英語と戰ひこれを驅逐し、二千六百年の歷史をもつ〃やまとことば〃はその中に內藏された日本精神とともに東亞十億の民衆に大手を振つて躍り出たのだ、この秋に當り大東亞共榮圈民族が教化主として渇望する日本語の普及方法や正しい日本語によつて、半島人を立派な皇國臣民に育成、さらに將來は日本語指導者にする目的から全國の學校に魁けて京城師範學校で、京城放送局は協力して京城師範學校第一附屬(半島人兒童のみ)の本年度新入學兒童に將定學級を追り約四十名の半島人兒童の國語上達狀況を入學から數年間にわたり錄音しその結果を隨時放送、日本語のもつ光榮と誇りを少年時代から叩き込むことになつた、京師では入學式當日の四月六日から十日おきに放送局から關係者及び技術員が出張し、教室で『お立ちなさい』『お坐りなさい』の國語教育第一歩から、運動場、その他學校內における兒童の國語使用狀況をすべて錄音し、また錄音班は兒童の家庭にも出張し兒童の家庭の國語使用狀態を錄音し、學校で、家庭で兒童はいかなる國語教育を受けてゐるかを正確にするもので、これにより如何なる環境の兒童が、どんな風に國語が上達してゆくかが明確に示されるわけである、この結果は學期末に適當に編輯し、鮮內だけではなく正しい日本語の習得に燃えてゐる大東亞共榮圈內の諸國に向け放送され、また錄音盤は重要な國語教育の資料として學校に保管されあらゆる機會に利用される、これで共榮圈內各民族に對する國語教育の指導方法が明確にされるばかりでなく半島人に對する國語普及は勿論皇民教育にも大きな役割を果すものであるとこの計畫は大きな期待をもつて迎へられてゐる、これにつき師範學校[illegible]氏、放送局第一放送部報道課長[illegible]氏は次の如く語る

學校側 はじめての試みだけに種々の支障、特に學業にもいく分さしさはりがあると思ひます、しかし言葉は文化の母胎であるといふことからすれば、大東亞建設の指導者たる日本の國語を普及することは今や單に社會的、教育的問題ではなくて國家的な最も喫緊を要する問題になつて來てゐるのです、この大きな課題に解答とまでは行かなくても示唆でも與へられたならば、少しの支障など默殺してもよいと思つたので思ひ切つてやることにいたしました、本府の編輯課でも全面的に贊成して下さつたので、放送局と緊密な連絡をとつて、立派な仕事にしたいと思つてをります

放送局側 この計畫は放送事業始つて以來全國最初のものであるだけに大きな期待をもつてをります、從來までの放送はトピックをつかまへて番組を編成してみたのですが、かういつた計畫性のある番組を放送し、うつたへるといつたことははじめての試みなのです、この計畫の目的が半分でも達し得られたら大東亞共榮圈內への國運の進展に、文化の滲透に大きな役割を果してくれるのではないかと思つてをります

【寫眞=錄音中の京師新入學生】

發明標語募集

やがて世界に雄飛するわれら日本人に、逞しい創造力を養ひ、世界を支配する技術を練磨させようと帝國發明協會では一億國民の發明思想を昂揚することになり、今回左記規定により廣く『發明標語』を一般から募集する

▲內容=時局柄發明工夫の必要なる所以を力強く簡潔に表現したもの▲用紙=官製ハガキ一枚に三標語迄▲送先=東京市麴町區丸ノ內二ノ二▲締切=五月卅一日▲賞金=一等一篇金百圓、二等二篇金五十圓、三等五篇金廿圓、佳作廿篇各金五圓▲發表=『發明誌』八月號紙上

愛で護れ興亞少年

十六・七の兩日 全鮮に保護運動

皇國の勵を承け繼ぐ次代の少年達を帝國臣民として立派に成長させようとさきに朝鮮少年令が公布され少年の保護事業に各種施設が新しい法令のもとに活動を開始したが、この〃愛の法律〃の趣旨を一般に徹底させるため朝鮮司法保護協會、司法保護團體では總督府、軍、總力聯盟外各種關係官廳の援助を得て來る十六、七の兩日間に亙り全鮮一齊に少年保護運動を展開、各種敎化事業の育成獎勵に積極的活動を開始することゝなつた主要行事は全鮮各都市の關係機關を動員、記念講演會或は座談會を開催する外パンフレット、ポスターを配布し、さらにラジオでも放送する

京城では十六日宮本法務局長以下局各課長をはじめ在城司法保護團體職員一同が午前九時朝鮮神宮に參拜する外同午後六時から半島ホテルで關係機關代表の懇談會を開催、又七時三十分第一放送で宮本法務局長が放送する、なほ第二日目の十七日午後六時卅分より京城府民館において〃機關と映畫の夕〃を開き、京城少年審判所長や[illegible]大佐の講演、〃みかへりの塔〃ニュース映畫を上映する

戰ふ赤誠の大編隊

半島から陸軍へ二百十五機

四月八日現在

大東亞戰爭勃發して僅か四ケ月、皇軍の大戰果は印度洋へ擴大され銃後の意氣もいよく潮漲してゐるが、昨年十二月八日皇軍が太平洋に起つて以來、半島二千四百萬が米英擊滅へ血を沸かし銀翼に赤誠を託して朝鮮軍愛國部に獻納した飛行機は四月八日第四回目の大詔奉戴日迄に二百十五機の多數に達してをり銃後半島の至誠を如實に現してゐる、そのうち三月廿日まで百廿日間の獻金は國防獻金一千三百八十一萬餘圓、恤兵金六十一萬餘圓、合計一千四百四十二萬餘圓の巨額を示し支那事變四ケ年半の獻金をはるかに突破してゐる、遡つて支那事變の獻金を加へると總額實に二千五百七萬餘圓の巨額となり半島在住者の一人宛は金一圓九錢の獻金に當つてをり、その大部分の八割五分は飛行機獻納となつて現れてゐる、この半島の赤誠に感動した愛國部平井大尉は九日午後六時廿分から京城放送局のマイクを通じ〃愛國機二百機突破を記念して〃と題し放送することになつたが、八日平井大尉は次の如く語つた

大東亞戰爭勃發以來の飛行機獻納は素晴らしいものがある、最も多く獻納した處は慶南の八機でなほ三機の獻納を手續中である、三月廿日までの內譯をみると全鮮的に集められたものは廿四機、道內各種團體又は[illegible]合から四十機、各郡六十三機、各府からは廿機、邑(?)八機であり小さな面からも[illegible]機、會社から十機、個人から[illegible]以下六十機となつてゐるがこれらの獻納者をみると中流以下に獻納者が多い、これに反し富豪は比較的少いとは遺憾と思ふ、だがまくく獻納されつゝあることは如何に半島の民衆が熱意をもつてゐるかを物語つて力強い限りだ

一度に五機 熱誠の翼 軍へ殺到

四度迎へた大詔奉戴日の八日朝ゆかしい獻納の熱意を銀翼に燃やして朝鮮軍愛國部へ飛行機九機の獻納手續があり軍當局を感激させた——京城府黃金町二ノ一四八朝鮮自轉車小賣商組合では愛國機獻納資金を全員が自發的に醵出し代表者內正山從氏ほか四氏が七日愛國部を訪ね倉茂報道部長へ面接飛行機一機の資金を獻納したほか慶北軍威郡民一同から一機、同英陽郡民一同から一機、同[illegible]郡民一同から二機の獻納資金が屆けられ一度に合計五機が揃つて獻納され益々つのる銃後の意氣をみせた

苦悶する東洋 孤兒〃重慶〃の【中】

さながら原始民の生活ぶり

去る二月八日、援蔣ビルマ路の紀點ラングーンの占領により重慶への武器輸送の路は閉鎖されてしまつた、既に我が空爆により生産工場を破碎し盡された重慶の抗戰力はこゝに止めをさゝれたも同樣、今後は小銃彈一發でも無駄には出來ぬ、寫眞(上)は重慶(?)が舊式大隊砲を引張り出して操作指導を行つてゐるところ、兵士、將軍の補充も武器缺乏から御覽の通りの有樣である、寫眞(下)は爆撃の後のバラツク建全く原始民の生活を髣髴させる、かゝる動物的生活水準の中にも生き拔ける重慶市民の生活力は驚嘆に値しよう、白や赤の衣類は我が空爆の好目標になるといふので政府では黑色以外の衣服は一切禁止し[illegible]早くも喪に服してゐる恰好だ

〃老いたりとも〃

板垣さんの情に感激

日露役の勇士が慰問と激勵行

日露戰役の老勇士が板垣軍司令官の溫情に感激機械化に魁けて將軍にしてこれは大東亞戰下に美しく咲いた感激の一齣である—石川縣戰友會のうち日露戰爭に參加した石川虎吉さん(七[illegible])以下卅四名の老勇士は去る三月十日陸軍記念日の晴れの日板垣司令官の招待を受け感激〃國を離しての決戰の秋、老兵たりとももお役に立たう〃と決意し陸軍病院を訪れ傷病兵を慰問すると共に志願兵訓練生の士氣を鼓舞することを申合せ、往時の軍服姿も凛々しく老骨を包み十日午前九時半朝鮮軍司令部を訪ね、同十時廿分一行を代表し村田[illegible]さんは板垣將軍と感激の對面を行つた、古いものが捨てられ新しいものが拾はれるといふこの頃、三月十日陸軍記念日閣下には日露の戰役に參加した老兵を招待され我々は感激に堪へません、此際老兵もお役に立ちたいと考へ傷病兵慰問と志願兵訓練生の士氣を鼓舞する事になりました、この計畫も軍司令官閣下の老兵に示された溫情によるものです

と挨拶を述べる、板垣將軍も感激の面持で

壯者を凌ぐ元氣潑剌たる老勇士の相貌に接し欣快に堪へない、三月十日の招待は私の微意でありましたがそれがあなた方を積極させ非常に嬉しいと思ふ、大東亞戰爭は國を擧げて戰ふもので國民が士氣を擧げる事は大切であることの意義[illegible]された頭は若い者をも鼓舞させ指導する上に頗るよい影響を與へるもので嬉しく思ひます

と老勇士を激勵した、一行は軍司令部を辭した後、陸軍病院を訪ね傷病兵を慰問した、更に志願兵訓練所を訪ね[illegible]大いに士氣を鼓舞した【寫眞=陸軍病院慰問[illegible]の一包】

挨拶も日本流 更生のスラバヤ

【スラバヤ八日同盟】占領後早くも一ケ月を迎へたスラバヤはその後あらゆる面に目覺しい躍進ぶりを見せてゐる、町も相貌もまるで一變した綺麗に清掃された町々を行けばどこの商店どこの食堂にも日本文字が氾濫し市民達の日本語熱は大したものだ、これらは皇軍將士に會ふと叮嚀にお辭儀をして行く、帽子をとつて頭を下げる床しい日本流のお辭儀だ、かうして亞細亞の指導者日本に對する欽慕信賴の情は市民達の日常生活の隅々まで深まりつゝあるのだ、一方華僑の動向に注目されてゐたがかれらもまたいまや米英依存、重慶支持の迷夢より醒めスラバヤ在住四萬五千の華僑を打つて一丸とする皇軍協力聯絡への氣運が釀成されてゐる、蘭印政府によつて無道にも殘虐の憂目に會つた邦人財產はその大部分が華僑の手に渡つてゐたが、これら華僑のうちにはこれを無償で返還しようとわが當局に申出てゐる者もある、徹底的に破壞されてゐた鐵道も殆んど復舊し昨日からはジャバ島を縱貫するスラバヤ、バタビヤ間の急行列車が開通した、コーヒーその他豐富な物資もスラバヤを中心にぼつぼつ動きはじめた、精銳技術陣による資源の開發も着々と成果をあげてゐる、占領後一ケ月、早くもスラバヤは大東亞建設の息吹に蘇生し逞しく躍動しはじめてゐるのだ

叫ぶ『鐵獅子』の親

全鮮で尾高中將が講演

機械化國防協會朝鮮本部では來る五月一日の戰車記念日を強く意義づけるため『戰車の夕』その他催物の準備に忙殺されてゐるが、この『戰車の夕』に更に花を添へるため皇軍鐵獅子部隊の生みの親尾高中將を東京から招聘して講演會を開くことになつた、同中將は四月來鮮の豫定であるが、協會側では同中將の來鮮を機會に全鮮各地でも講演會を開催しようと計畫を進めてゐる

尾高中將は板垣朝鮮軍司令官と同期の士官學校第十六期生で大正十四年五月一日我が陸軍に戰車隊が初めて出來た時、初代隊長となり現在の世界に冠たる皇軍鐵獅子部隊を育て上げた功勞者である、中將はまた支那事變當時羅南師團長として張鼓峰事件が起るや敵の有力な戰車隊を一歩も我が陣地に入れなかつたが、これも中將が對戰車戰法に就て日頃から部下の訓練を怠らなかつたことに基づくものである、同中將は中支方面司令官、滿洲國境方面司令官、軍事參議官を歷任した

時計の修理は村木へ

濠洲逃避の殘存蘭印軍 聯合軍に編入

【リボンス八日同盟】シドニー來電によれば亡命蘭印政權副總督ファン・モークは七日シドニーにおいて蘭印殘存部隊の聯合軍編入につき次の如く發表した

日本軍の占領直前バタビヤから濠洲に逃避した蘭印政權は今後メルボルンに移轉することゝなり、同時に蘭印殘存部隊は聯合軍司令部の麾下に入ることに決した

俸給から獻金

京城黃金町一ノ六三日本農林株式會社京城支店職員一同はこのほど俸給の若干づつを醵出、共同貯蓄をなし獻金することを申合せたが八日一同は百十圓を本社に寄託、恤兵金として獻納の手續をとつた

生糸の大闇

京城の路上に蠢集する生糸の闇の根源が經濟警察の手で衝かれた、鍾路署經濟係では霧織機生れ全北南原邑絹糸小賣商組合長飯田誠三(三[illegible])同組合員李康洙(三[illegible])京城阿峴町二二ノ一一三絹布行商金鍾學(三[illegible])ほか五名を嚴重取調べてゐるが飯田は組合長の地位を悪用、昨年六月から十一月にかけて組合から一般業者に配給濟みの如く帳簿をごまかして鮮產生糸太三合三號品一捆公定價一圓九錢のものを五圓で五百捆、一打十九圓十九錢の東京糸を廿五圓で六十玉、また東京晒糸一打十八圓六十錢のものを卅圓で六玉を李康洙に闇取引して一千百五十八圓の不正利得をした

さらに李はこれを崔原ら三名の者に不正販賣、糸は闇を縫つてつひに京城に轉がり込み鮮產生糸は七圓五十錢、東京糸は卅圓、東京晒糸は卅五圓の大闇で金鍾學の手に渡り、果ては鍾路や南大門通の行商人の手に移り彼等露店商はこれを更に生糸十圓、東京糸四十圓で一般に賣捌いたもので、最初飯田から振出された一千二百圓の不正利得金は五名の手を經て街の露店商にまで配分されてゐたもの

宿泊料を協定

旅館ホテルの宿泊料は昨年八・一一ストップ令で停止されてゐるが目下のところ各道各地にあつて料金がまちくであり相當不合理な點も認められるので總督府企畫部ではこのほど各道知事宛通牒して道單位に宿泊料の協定化を促すう示達した

〈寧村裕氏夫人〉 東亞木材社々長寧村裕氏夫人純月女史療養中七日夜逝去告別式は十一日午後一時から京城西四軒町で執行する

傷つき、口で操縱 群がる奴を叩落す
我荒鷲・空の死鬪記録

【〇〇基地八日同盟】絶體絶命の死地に陥りつゝも敵機二機を撃墜その上瀕死の愛機を守るべく操縱索を口に啣へ己が頭を機柱に打ちつけ襲ひかゝる睡魔と闘ひながら見事〇〇基地に歸還した空の死鬪記録が八日〇〇基地に發表された

シンガポール西方爆撃敵高射砲陣地爆撃の際であつた、我〇〇機編隊の荒鷲が高射砲の砲撃を突つ切り二段三段備への壯烈な敵編隊機を向ふに廻し獅子奮迅の猛爆中目代金一曹長（富山縣）山林由雄軍曹（北海道）佐伯一雄兵長（福岡縣）の搭乘機は敵高射砲の彈道の眞只中に落込んだ、どしんといふ

物凄い衝動

とゝもに愛機の胴腹には大きな穴が開けられ操縱索は吹飛び目代曹長は左右兩足を撃拔かれ、山林軍曹は下腹部に傷つき佐伯兵長はばつたり打伏した、愛機も急に安定を失つて動搖する、それと知つた敵七機は前後左右から折重なつて喰ひ下つて來る、絶體絶命いまは自爆か體當りかその二つを選ぶよりほかはない、「よし」目代曹長は前面の敵機目掛けて猛然と突進し一擧に敵機二機を擊墜した、つゞいて一機を血祭りにあげた、この時愛機は敵彈に打ちぬかれて、機首の大穴から

猛烈な突風

をくつて動搖しがくりと機首を落し機内は猛烈な突風にあふれて手の施しようもない、まさに墜下の寸前であつた、落膽、うなだれた機首は再び立直つて來た、見ると虫の息の山林軍曹が切斷された操縱索を必死の力で引張つてゐるのだ、だが機はまたもやがくんと頭をさげ降下して行く、操縱索を握る山林軍曹の力が弱つたのだ「歸航不可能、

訣別の無電

を打つ時で自爆あるのみわが機に續ぶたに目代曹長が友軍機にあつた、またも機はぐんぐんと上昇して安定を取戻して來た、操縱索を握つてゐる山林軍曹が次第に弱まる握力にかへてこれを口に啣へた上さらに手に捲付け渾身の力をもつて操縱索をひ張つてゐるのだつた、なんと逞しき鬪魂、要じき氣力、目代曹長も多量の出血に幾度か意識を失ひかけたがその都度わが身、わが頭を機柱に打つけ意識を取戻して叫んだ『山林、有難う、いま暫らくの辛抱だ、頑張つてくれ』と操縱索を握つて死鬪する戰友を勵ました、『しつかりせよ』と叫ぶ、しかし何時しか敵機の姿もない〇〇基地に歸還した、それから走りよつた

戰友が扉を

あけた瞬間、虫の息の山林軍曹は天皇陛下萬歳を唱へると知つたか命の操縱索を口から離して絶命したのであつた、嗚呼、なんと壯烈な荒鷲魂よ……

馬の寫眞　特選五席　堀江喜二雄

原料品は日本へ
泰經濟交渉使節ワニツト氏語る

【東京電話】日泰同盟締結後の經濟交渉のため先發したワニツト無任所相、モムチヤオ大藏省顧問、チヤイ外務次官など一行七名は、七日午後二時水野外務省通商局長以下の出迎へを受け羽田に空路飛來の入京を遂げ、直ちに帝國ホテルに赴き二階二〇八號室に入つたとたんワニツト使節へ電話のベル、なんとバンコツクのお宅から國際電話だ『あゝ無事つきました』とワニツト氏の聲もはづむモムチヤオ、チヤイ兩氏と三人仲よく寢室に納つてからワニツト使節はその使命についてつぎの如く語つた

『今回經濟使節先發として東京につきましたが、途中日本官民の非常な歡迎を受け感謝に堪へない、我初からこの感激に滿ちて仕事を始められることは何か自分に託された經濟方面の交渉の前途が明かなやうな氣がする同盟といふことはつまり協力といふ意味で、この點タイ國は政治、軍事、經濟の各方面から見て出來るだけのことをつくし、又將來もつくしたい、特に同盟條約の一つにある日本軍への便利供與について政府は勿論、タイ國民衆は日本の兵隊さんに出來るだけ協力してゐるし、私の知る限りでは兵隊さん方も喜んでゐるやうです、日泰の經濟關係についていへばタイ國はつねに日本に誠意をもつて原料を供給し、日本はまたタイ國の必要とする工業品その他を供給してもらふ──この原則と精神でこの私の經濟に關する仕事を行ひ能くまで兩國間の親善強化につとめたいと思ふ』

本社寄託獻金
八日扱ひ

國防献金　陸軍
五百圓　京畿道始興郡安養面　龍灘　豐雄
十七圓忠南燕岐郡小井里金田元……▲十五圓京城府京東國民學校柳川……振榮▲十一圓三十七錢京城京東國民學校松山富根▲十圓京城府竹添町二ノ一四二西大門市場内近藤……三▲一圓十錢仁川旭國民學校兒童一同

國防献金　海軍
五百圓　京畿道始興郡安養　龍灘　豐雄
五十圓京城府東亞町二花月食堂女給一同▲十七圓六十錢龍仁稅務署職員一同
【日計】金　千百二十二圓〇七錢
【累計】金　七十三萬千〇三十五圓四十二錢也

皇軍慰問金
六十圓仁川府花房町日本製粉會社從業員一同▲五十五圓京城府黄金町一ノ六三日本製粉會社京城支店一同▲三十二圓九十二錢京城府若草町一ノ一三二渡部あさよ▲一圓十錢江原道交齋國民學校四年女子一同、
六十圓仁川府花房町日本製粉會社從業員一同▲五十五圓京城府黄金町一ノ六三日本製粉會社京城支店一同
日計金　二百六十四圓〇二錢
累計金　十七萬〇二百八十八圓五十九錢也

九軍神顯彰金
千圓　仁川府宮本町加藤小太郎
千圓　京城府黄金町二ノ一〇朝鮮映畫配給會社
五十圓京城府黄金町城東劇團隊一同▲十五圓二十錢仁川府寶光町九月瀨國民學校生一同▲十圓京城府通義町一ノ五安川榮

防空監視隊
日計金　二千七十五圓二十錢也
累計金　二千百五十七圓廿三錢也
累計金　一萬六千二百七十八圓十錢也
總計金九十一萬九千七百五十九圓三十四錢也

踊子達が軍神へ献金
京城寶塚劇場の開館一周年記念興行〝春の踊り〟に應援のため來城した日劇ダンシングチーム田中子さんほか三名のスターは同田演の城寶樂劇團四十九名と合せて幕食代を節約した金五十……を海の軍神合同慰靈祭の行はれる八日、城寶江口…氏と共に本社を訪れ九軍神顯彰金として献金した

文化
最初の渡歐者（上）
＝法王廳へのわが少年使節＝
蔡呂九

共榮圏内に數百萬のカトリツク教徒を包含する實情に鑑み、わが國が今度ローマ法王廳へ特派公使を派遣することになつたについて誰しも思ひ浮かべるのは天正年間わが大村、大友、有馬三家から四人の少年使節が法王廳へ派遣された一事であらう

天正の時代は切支丹の興隆期であり、當時カトリツク教傳道のためわが國に渡來した多くのイタリー人の中に、バリニアノといふ布教師があつた、彼こそ九州の諸大名に勸めて使節を派遣せしめた當人である、バリニアノはゴアマカオを經て天正七年はじめてわが國に渡來し、信長に謁して安土に南蠻寺を建て、學校を建てゝ教育事業に從事するなど種々の事蹟を殘したが、彼は宗教的のみならず、政治的才能をも具備した人だつたので、日本における布教の成果を歐州人に知らしめ、且日本人に歐州の事情を見聞せしめ、兼ねてローマ法王の威嚴を認識させてその將來の布教を有利ならしめようといふ計畫から、先づ大友宗麟に使節の派遣を説いた、宗麟は大村、有馬の二家とはかり、三家から使節が選ばれることになつた

選ばれた使節一行は正使の伊東マンシヨと千々石ミゲル、副使の中浦ジユリアン、原マルチノの四人であつた、これ等の使節は何れも十三歳から十五歳までの少年であつたが、その理由は、若年の者こそ偏見がなくて感化を受け易くまた異國の風土に順應し易く、成年者よりも目的を達するのに條件が揃つてゐるといふバリニアノの深慮によるものだつた

少年使節の一行はバリニアノ師に伴はれて天正十一年一月長崎を出帆し、マカオを經てコチンに暫く滯在の後ゴアに着いたが、この地でバリニアノ師は當局の命により印度に留まることになつたので、東道役は他の布教師が代りアフリカの喜望峰を廻つてリスボンに到着、ここで長途航海の疲勞を休めてから陸路スペインの首都マドリツドに赴き、ここに滯留中國王フイリツプ二世に謁見しスペインの港アリカンテから再び乘船してイタリーに向つた、途中暴風のため屢々難船の危險に遭ひながら、イタリーのリボルノ港に上陸した、そこからピサ、フローレンスを經て、天正十三年三月廿二日遂に目的地のローマに達した、長崎を出帆してから實に約三年の月日を要したのであつた

防空訓練は
―主婦だけでは駄目
家庭の全員が參加せよ

最近防空訓練について各家庭の防護員が打揃つて警防團と連絡も敏速に治癒な行動をするやうになつたことは非常に嬉しいことです、が、主人連の訓練を見ますと主婦に及ばぬまづい結果でありました、今まで何回もの練習によつて、一般家庭の主婦は大變上手な演習振りに至りましたが主婦だけの完全な訓練では足らないので家庭全員がそれぞれの訓練生でなければなりません、先づ主婦は自分の演習を心掛へを家庭全體へ普及させる必要があるのでありますから、今後とも各自が眞面目に頑張つて下さるやう望みます（瀬戶城南知事（前京畿道警察部長）談）

京日歌壇
吉井勇選

京城　成田博子
黒潮とそばらにとけて日光吸ふ庭の畑土歩みたのしむ
異國は栗の落葉のまだ深くしめれる土は凍てゝこぼるも
診察の結果は思ひのほかによく歸途は明るく山をながめぬ

仁川　相川哲也
あかあかと夕日を背になにかしらなきかと本を買ひて戻れり
何となく落着かぬ日よ口笛をやめんとすれど止められぬかな
何やらむ言ひさしてふと見上げたり友の妹の二重瞼を

平壤　松月小夜子
兄上は入試へむかふ妹に心靜めよと箸子させ給ふ
なごやかに綠の日射しに歇よみぬ懷しき過去もしばし忘れて

子供は〝純眞〟に
躾け方が大切

子供が五つ六つになりますと躾が大切となります、目上の人には朝晩は勿論出掛ける時とか歸宅の際は必ず挨拶をする事や本を踏まないやうにさせたり、他に小さい事のお手傳ひなど「三つ兒の魂百まで」の諺の通り、國民學校へ入る前の躾がしつかりしてゐれば大きくなつても何處へ行つてもまごつかずに濟みます、子供は純眞なだけに躾方によつてはぐんぐんと延びてゆきます、これからだんだんと暖くなりますと子供は外に出たがりますが、先づ健康が何よりですから充分日光浴をさせ、ラジオ體操や軍歌に合せて遊戲を教へたり、適當な運動をさせて立派な兵隊になれる土台をつくりませう（愛國班幹部松下トヨさん談）

家庭メモ
體温の常識

體温は疾病を知る一助として大切なもので自分の健康時の體温を知つておく必要があります、普通三六度四分―三六度七分といはれてゐますが體質や生活狀態によつて幾分異つ てきます、即ち多血質の人は三六度五分―三六度九分位、貧血質の人は三六度五分以下位、年齢的には一般に幼年者は高く、長ずるに及び低くなります、時間的には午後二時頃―八時頃が最高時で、午前二時頃より八時頃が最低時、一日の差は三分―一度二分位です、又勞働や運動後、食後入浴後には幾分昇り、喜怒哀樂等の感情的衝動をうけた時も平時より幾分昇るものです

不連續線
卒業後

女學校を卒業した翌朝は、久し振りに朝寢をしました。それからは、お母樣のお手傳ひをして、台所の御用をするのにも、何か新しい興味を覺えました。然し、毎日通學してゐた今までの習慣は拔け切らず、終日家の中にばかりゐると、何だか鬱陶しいやうな氣が致しますので、少しも氣晴らしに外出したい心からと「ね。お父樣のパンを買つて參りませうか」と、申しましたら、お母樣が「まあ。卒業すると、急に氣がきくやうになつたのね」と、お笑ひになりましたが、私はかへつて恥かしくなりました。

新映畫評
一乘寺決鬪
日活最終作品

宮本武藏　日活京都作品「宮本武藏一乘寺決鬪」―昨年度の十傑作品中「海を渡る祭禮」「江戶最後の日」と一擧に二作を入選させた稻垣浩監督が日活京都の最後作であり、また片岡千惠藏主演の宮本武藏物に終止符を打つた一篇である

原作は言はずと知れた吉川英治だがこの物語は以前に映畫化された部分を辿り、武藏の若かりし頃になつてゐて脚色にはかなりの無理もあるが、演出の巧みさは迫力ある畫面構成と相俟つて劍聖としての宮本と人間としての武藏を兩面から見事に描いてゐる

武藏が吉岡清十郎（淺香新八郎）の片腕を押ぎ去つて蓮台寺野を下り殺氣を孕んで手觸の道を憑かれた人の如くゆくところ、闇寂の古部宗良に實藏院流の槍を學ぶべく寺下りの境内を通り拔けてゆくあたり武藏の烈々たる闘氣を漲らせてゐる、ロケ場面の地じませてゐる

活かしたのは仲々效果的で撮石本秀雄の努力も見逃し難い映寫時間一時間五十分）

〝戰地の子供〟
◇京日文化劇場上映

戰地としての廣東から新らしい國の旗の下に新東亞の子供と供達の姿を約六ケ月間、苦心した南支派遣軍報道部後援、映畫社製作「戰地の子供」（一卷）は九日から京日文化劇場で上映異色作品で伴奏音樂には×員國分一太郎の「戰地の子供」によつて描いたもので、撮影支一帶の戰地の子供たちに知性と愛情にみちて行はれ切られてゐる

☆京日文化劇場（十六日から日まで）▲日本ニュース▲文化映畫とホームグラフ▲……船に生きるもの」四卷▲……光局映畫「……の黒林」

三國志【773】
（赤壁の卷）
吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

荊州往來（五）

周瑜の侍醫や近侍たちは交々になだめて、安眠をすゝめた。
「怒氣をお抑え遊ばす樣、御傷の御苦痛は増すばかりです。何とぞお心をしづめて、靜かに、しばし御養生を」
大軍を率ゐて遠く溯江し、上國第一日にこの凶事だつたから、諸人の氣落ちと狼狽は無理もなかつた。
ところへ、呉侯孫權の弟孫瑜が援軍を引いて到着したと報じて來た。周瑜が、
「會ひたい」
といふのだ。早速、馬をとばして迎へにやると、孫瑜はすぐ駈付けて、から慰めた。
「都督、餘り焦々せぬがよい。予がこれへ來たからには、萬事、呉侯に代つて指揮いたす故。御身はしばらく船中へ退いて、何よりもの養生に努めるがいゝ」
然し、周瑜はなほ、身の苦痛などは口にも出さない。火の如き憤激を吐いて、
「誓つて、荊州を取り返さい。孔明の首を見なければ、何の顏をもつて、呉侯にまみえよう」
血涙をたゝへて云つた。

都督公瑾（周瑜）先生ノ麾下ニ致ス。亮、柴桑ノ一別ヨリ、今ニ至ツテ戀々忘レズ。聞ク足下、西川（蜀）ヲ取ラント欲スト。亮、思ヘラク、不可ナリ。益州（蜀）民ハ強クシテ地ハ嶮、劉璋ノ暗弱ヲ以テシテモ守ルニ足レリ。今、師ヲ勞ケテ遠征シ、轉運萬里、全功ヲ收メント欲シ、呉起ツト雖モソノ規ヲ定ムルコト能ハザラン。
抑、天下如何ナル時ゾ。曹操ガ赤壁ノ大敗ヲ見テ、亦、ソノ屈辱ヲ報ヒテ忿ハントスルトハ。今、天下三分シ、曹ハソノ一分ヲ占メ、猶、馬ヲ蒼海ニ水飼ヒセンコトヲ望ム。時ニ呉兵ヲシテ遠伐ニ赴カシメ、自ラ守ルヲ虚シウスル事長計ニ非ザルモノ也。願ガ呉ト曹ト唯一三分ノ勢ヲバ、江南荊楚ヲサレ盡サム。坐シテ視ル忍ビズ、コヽニ告グ。幸ニ照覽ヲ垂レヨ。
讀み下してゆくうちに、周瑜は假疵胸に塞がり、手はわなゝき、顏色も鬼土のやうになつてしまつた。
「うゝむツ……」
と、太く、苦しげに、長嘆一聲すると、急に、
「筆、筆、紙を、硯を」

愈よ水豐三號機 けふ滿洲向け送電
一號機當分の間休止

鴨綠江水豐發電所の第三號機は三月末これが裝備を完了去る一日を期して通水試動を開始その後約一週間にわたつて機械各部分の調整を行ひつゝあつたが、いよく九日正午を期し現地技術者立會のもとに〇〇萬キロワットの處女送電が滿洲鞍山に向け開始された、昨年八月廿五日と九月一日第一、二號機による〇〇萬キロワットの滿洲向及び朝鮮向送電が開始されてから七ケ月にして第三號機の送電を見るに至つたわけである、なほ滿洲向送電に關しては第三號機の送電開始とともに機械調備のため第一號機が當分送電休止となるので暫定的に行ふことゝなつたもので三號機の送電方向は近く開催の鮮滿連絡會議において正式決定される筈である、橫地鴨電常務は語る

水豐發電所の第三號機は前の一二號機の經驗が物をいつて豫定以上に組立が進行し去る一日通水試動の運びに至りその後試運轉も順調に進捗し官廳試驗を終へていよく今日正式送電を開始した

西頭水發電の用地買收終了
新會社北鮮水力は五月創立

豆滿江水系西頭水、延面水における朝鮮水力の發電工事はすでに石幕、三巨などの發電所設備地點その他工事着手に必要な用地買收を終了しいよく本格的に工事を開始することになつた、この發電工事費は一億八千二百七十萬圓を見積られてゐるが、資材、勞力不足の折から二億圓を突破するものとみられてゐる、大體昭和廿年に一部發電、同廿一年に完成の豫定であるが、右發電工事の促進をはかるため朝鮮水力では北鮮水力(假稱資本金一億圓)を設立するが、目下當局に申請中であるので五月早々創立總會開催の運びとなる模樣である

三段階制を採用
鮮內鐵鋼配給機構整備

鐵鋼統制會朝鮮支部において準備中の鮮內配給機構の整備は渡邊日本鐵鋼販賣統制株式會社社長の入城によつて具體的方針を決定、直ちに整備に着手せられることゝなつた、內定を見てゐる具體案は最高統制機關を販賣會社京城支店とし同社自身は委託店をもつて代行せしめ一般需要は共同配給所を組織し、これに當らしめると同時に最下部機關としては現在の特約店を現存せしめる三段階制をとるものである、共同配給所の構成は現在のメンバー中實績ある問屋を一定基準によつて選定、條鋼部門、鋼板部門、鋼管部門を含め大體五、六店を以つて組織される筈で、共配所を通して問屋、特約店へ割當を行ふこととなる、地方特約店については一應現狀維持とするも、これが運用原則としては特約店の設置は地方的な需要量の多寡によらず需要少なりと雖も必要を認めらるゝ地方には設置するとゝもに需要大なりとも必要以上の店數を設置しない方針である從つて右原則により地方配給機構の修正が行はれるものと見られるなほ會社では本府の要望により釜山、仁川に倉庫を置き右倉庫より委託店、共配所、特約店に賣渡すことゝなる、右につき八日入城の日本鐵鋼販賣會社渡邊社長は左の如く語つた

朝鮮における配給機構整備上最も特筆さるべきことは鮮內配給機關が大阪の問屋の手を離れ朝鮮獨立地區となつた點である、從つて需要者も從來のやうな迂遠な取引方法によらず直接鮮內において取引契約が行ひ得ることとなり、また釜山、仁川の倉庫は各品種寸法の品物を豫め準備して置くことが出來るから至極便利になることゝ思ふ、配給機構の整備は內地と同樣の方法で行ふつもりである、地方的機關についても地方ブロックや組合を結成せしめることなく特約店を個々に活かして手細智的に運營したいと思つてゐる

棉作增産助成金
纖維協會で交付

朝鮮纖維協會では十七年度事業計畫として咸南北を除く十一ケ道に對し棉作增産獎勵に要する經費の一部を助成することゝなり道農試農會の從來の實績と將來の計畫などを考慮勘案して大體一ケ道當り三千圓を限度とする助成金を交付することになつた

中小商工業融資
昨年中は二百九萬圓

殖産局調査=十六年度中の中小商工業融資承認額は自己資金が百三十六件の百四十八萬二千七百七十圓、預金部資金が五百三十二件の六十一萬二千八百二十圓、計六百六十八件の二百九萬五千五百九十圓でこれが制度實施以來の累計は自己資金三百十五件の二百五十二萬七千八百七十圓、預金部資金が二千四十四件の四百二十五萬五百四十圓、計二千三百五十七件の六百七十八萬四百十圓となつてゐるしかして、これを業種別に見れば商業が百五十九件の六十九萬一千二百圓、工業五百九件の百四十萬四千三百九十圓、さらに金額別に見れば一千圓以下が三百八十六件の卅四萬二千三百五十圓、二千圓以下卅九件の七萬八千九十圓、三千圓以下六十二件の廿萬二千六百五十圓、六千圓以下百三十四件の六十七萬六百圓、一萬圓以下十七件の十五萬五百圓、二萬圓以下廿五件の四十三萬八千四百圓、三萬圓以下一件の二萬五千圓、二萬圓以下以下四件の十七萬八千圓となつてゐる、なほ融資金融機關別內譯次の如し(單位圓)

	件數	金額
殖銀	四	七六、〇〇〇
商銀	三五	三四四、七五〇
東一	三五	八六、五〇〇
漢銀	五四	五〇〇、六〇〇
湖南	二	六、〇〇〇

米、麥の貸出資金
二億四千百九十八萬圓

三月二十日現在における食糧資金貸出狀況は米資金二億三千七百十四萬六千圓、麥資金四百八十三萬五千圓計二億四千百九十八萬一千圓となつてをり米資金においては昨年同期の一億九千三百八十三萬六千圓に比し四百三十三萬一千圓の增加を示してゐる、これは昨年の豐作と船腹不足による內地供出不順によるものである

麥粉四月分の各道割當決定

本府殖産局は四月分麥粉割當を決定、四月九日附を以て各道に通牒を發したが總量二十萬七千八百五十八袋で前月分に比し二萬二百四十二袋の增となつてゐる

甘藷增産計畫 農林局で樹立

米、麥について戰時下食糧自給政策に重要役割を占める馬鈴薯、甘藷の增産については本府農林局において豫て增産計畫を樹立、これが確保に努めつゝあるが從來朝鮮では種薯自給をなし得ず每年兩者とも內地に仰いでゐたものであるかゝることでは完全なる增産計畫を遂行し得ないので本年より種薯の鮮內自給を行ふことに決定、先づ各道の優良品種を選定配給せしむることゝなつたが逐次全鮮を優良品種を以つて置き替へる方針である

絹織物の移入
實績主義で統制
新移入機構決まる

內地における絹織物新配給統制機關の整備に即應して半島においても近く內地産絹織物移入組合に配給統制要綱を公布實施すると共に、朝鮮織物移入組合を內地産絹織物の新移入機構に指定し、昭和十三年以降十六年末までにおける鮮內業者の移入實績を基礎として割當配給を行はしめることゝし、これに先立ち同移入組合內に實績調査委員會を設置することになつた、右委員會は井坂商工課長を委員長とし關係官民廿餘名を委員として構成、鮮內業者へ十三年一月一日以降十六年末までの滿丟四ケ年間における本絹織物および本絹交織物の移入實績額(但し政際間の企業は認めぬ)を申告させ、右申告により嚴密な審査を行ふことになつた、申告受付期間は來る廿日から同廿五日までの六日間で虛偽の申告者は配給權を失格することになつてゐる、なほ鮮內における十三年以降十六年末までの絹織物移入實績額は約三億圓に達する見込みである

朝鐵自動車總會

朝鐵自動車では來る廿一日午前十一時から古市町本社において第十二回定時株主總會を開催、當期決算案ならびに利益金處分(配當一割四分据置)定款變更の件、取締役、監査役、全員任期滿了につき改選、退職取締役新田留次郎氏に慰勞金贈呈の件を附議する

京商議員總會 十四日に開催

京城商議では十四日午後四時半から同所に役員會、五時總會をそれぐ開催、十六日開かれる朝商臨時總會への提出議案および代表出席者決定の件(田中副會頭の豫定)を附議、引續き五時半より退任議員表彰式を舉行する

鮮魚介類入荷順調

鮮魚介類の都會地入荷を促進するため殖産局ではさきに各主要産地に對し出荷命令を發したが、この結果その後における入荷は地元業者の協力と相俟つて漸次出廻り潤澤化の傾向にある、すなはち京城中央卸市場調査による最近の魚介入荷狀況は高級物を除くほか大衆向のものは大體順調に入荷してをり前年同期に比し數量金額共に多少增加してゐる、なほ殖産局ではこれが根本對策として目下審議中の青果物および鮮魚介配給統制と切離して水産物製品の配給統制を實施すべく目下考究中である

岩本製綱所永登浦工場六月操業

京城府蓬萊町岩本製綱所ではマニラロープの需給逼迫に對處し鮮內に豐富な桐木樹皮、[illegible]皮、桑皮を原料とする代用ロープ製造を企圖し資金調整法及び設備許可法の認可申請中であつたがこのほど正式認可を得たので年産三十萬貫を目標とし資本金百萬圓を以つて永登浦工場建設に着手、六月頃操業開始の見込みである

株式 積極味なく小往來

前場 英印會談はつひに物別れとなり、わが關印方面作戰は大戰果發表があつたが、買氣を誘ふまでに至らず、依然逆鞘形勢裡の形で、新東百卅二圓九十錢、新鐘九十九圓六十錢、高周波四十六圓六十錢といづれも三、五十錢方小甘く寄付いたが、押目は追つかけて賣る向きもないので中半若干持直し引値は新東百卅二圓六十錢新鐘九十九圓八十錢、高周波四十六圓五十錢に散會。結局小往來を繰返してゐるに過ぎなかつた

後場(保合) 新規材料待ちに買氣依然振はず新東百三十二圓四十錢、新鐘九十九圓七十錢とそれぐ一、二十錢安、高周波四十六圓六十錢と十錢高の區々商狀を呈したが、大體において諸株とも保合圏內の動きに止まり妙味薄であつた、目先もいづれかの强烈な刺戟材料がない限り上下何れへとも保合破れは困難の模樣であつた

照明彈

國際情勢は英印會談がつひに決裂し一方米英は蘭印の疏通を缺き、重慶政權の斷末魔、ドイツの春季攻勢など悉くわが方に有利であり、戰局は印度にまで展開してゐる▲また市場自體の材料としても未整理は三ケ月間に亘つて行はれ取組高は開戰以來の最低記錄であり何一つ警戒すべき材料はない▲從つて如何なる角度よりしても大局樂觀であると同時に目先的にも樂觀してよい筈だ▲しかし現實的には甚だ不振である▲仕手の動きは殆んど沈滯目先師と玄人筋で大衆は動かぬ相場に愛想をつかして離散、檻に入れられた虎の如く一定範圍をはつたり來たりしてゐるだけで相場に新味がない▲から長期間に亘つて保合つては賣方は日歩と手數料を喰はれる懸ひがあり人氣的に氣崩れがありはしまいかとの不安はあるがそれにしてもそれがないところにこの相場の持つ强味があり既に底が固まつてゐるとみたい

實物 軟調

環境の不振勞々相場の行惱みから氣迷を深めてゐるため、整理商內が引續いて行はれ諸株とも總じて軟調を呈した、しかし目立つて惡いものはなく、人氣はいづれかといへば安値は買募はれてゐるだけに目先突發的な材料でも現はれぬ限り橫這ひの持續とみられる、主なる出來値左の如し

京東鐵一一、六▲朝鮮機械四九、二▲高周波四六、八▲朝鮮理研金融二九、〇▲親和木材新一九、〇▲三菱重機新二九、〇▲新潟鐵工新六四、八一五

地株利廻表 (秋田證券現物店調査)

七段陣對五六段陣 對抗大棋戰

第二回 (三日目・ミ出し) 先相先 先番 六段 篠原正美 七段 加藤信
(持時間各十一時間) 一分以內切捨消費時間 白〇〇、黑〇〇

〇十四ち十六… ●十五り十六… 〇十六り十五… ●十七ぬ十五… 〇十八へ十七… ●十九へ十八… 〇二十ほ十八… ●二一と十八… 〇二二ぬ十六 ●二三り十七… 〇二四り十四… ●二五は十六

◇白次の手をどう打つか。「ろノ十六」とハネ、黑「ろノ十七」のとき「にノ十六」黑「はノ十七」白「るノ十五」と、十七の一子を征に取込んでゐること必至であらう。

合理的の推移
解說 七段 岩本薰

◇黑二三と粘いだとき、白は二四と中央へノビた。此手をもつて白としては右下隅へ「はノ十七」とアテて打ちたい處だが、すると黑は(參考圖)の如く中央を二とアテて來る。白は勢ひ三と二目を取込む形であるが、そのとき黑に四と此一目をポン拔かれる。これはいはゆるポン拔卅目にも當る要點で黑の勢力俄然雄壯となつて、白は左下隅の運用が巧くゆかない。よつて譜の如く白は二四と辛抱してゐるのである。

◇白二四とノビた以上、黑二五のツケは絕對だ。今度白から「はノ十七」とツケて來られてはたまらない。

(參考圖)

本社特選廿四棋士 勝繼戰
第八回 (萩原八段一局勝二局目)
手番 八段 萩原淳 △
先 八段 齋藤銀次郞 ▲

△七六角 ▲六五桂 △八四玉 ▲五一角 △六一步 ▲六七步 △五九飛 ▲八六金 △六五角 ▲同銀 △二九飛成 ▲八二角打迄 齋藤氏勝

木村名人講評

先手六七步、八六金は、節の六五角を餘儀なくして安全な勝方であつた。

この將棋後手の敗因は立上りに急所の四五步を逸し作戰の相雜さにありと信ずる。然も中盤に至つて一四步、三三桂の緩手など中央の危急に善處を怠つたが禍因といへる。聞に今後の自重を望む。

(本日の指了り盤面)

登記公告